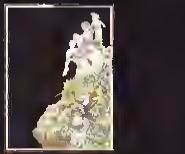
江戸川乱歩
丸尾末広

ISBN978-4-4337-3888-7
C0093 ¥2800E
2018年10月初版 発行
ホーホーブックス



この物語の登場人物は実在の人物とは一切関係ありません。
日本建国神話が世界に先駆ける紀元前2千年紀の話。
最古の歴史から現在に至るまで、
民族・宗教の根源的対立によって、戦争の絶えない
今、この時を生きている私達が
前世の「前前」の生、あるかもしれないノアリア
満都羅堂、収玉渾龍、天下無敵の、極上怪奇幻想譚!

パノラマ島綺譚

原作 江戸川乱歩 × 漫画 丸尾末広

パノラマ島綺譚

江戸川乱歩

◉其ノ序◉

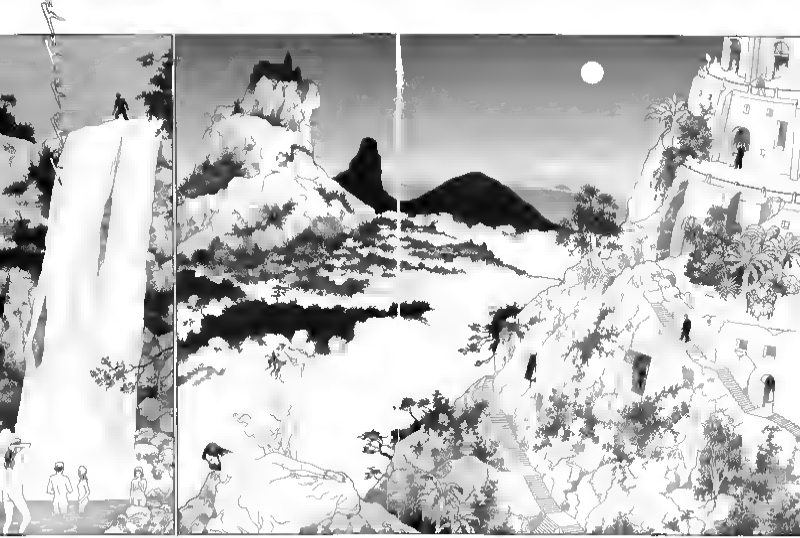
丸尾末広

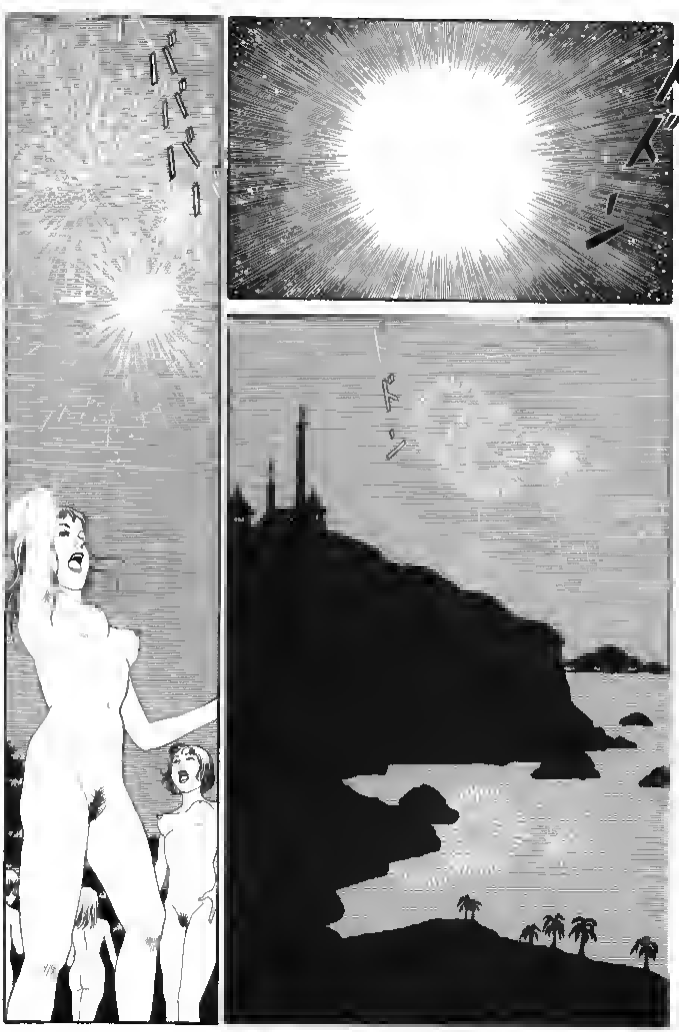
現世は夢
夢つ夢こそ真実
鬼多

そして、
ついに地上の楽園は
来たのでした。
たぐいを絶した
カーニバルの狂気が、
全島をおおいはじめ
ました。

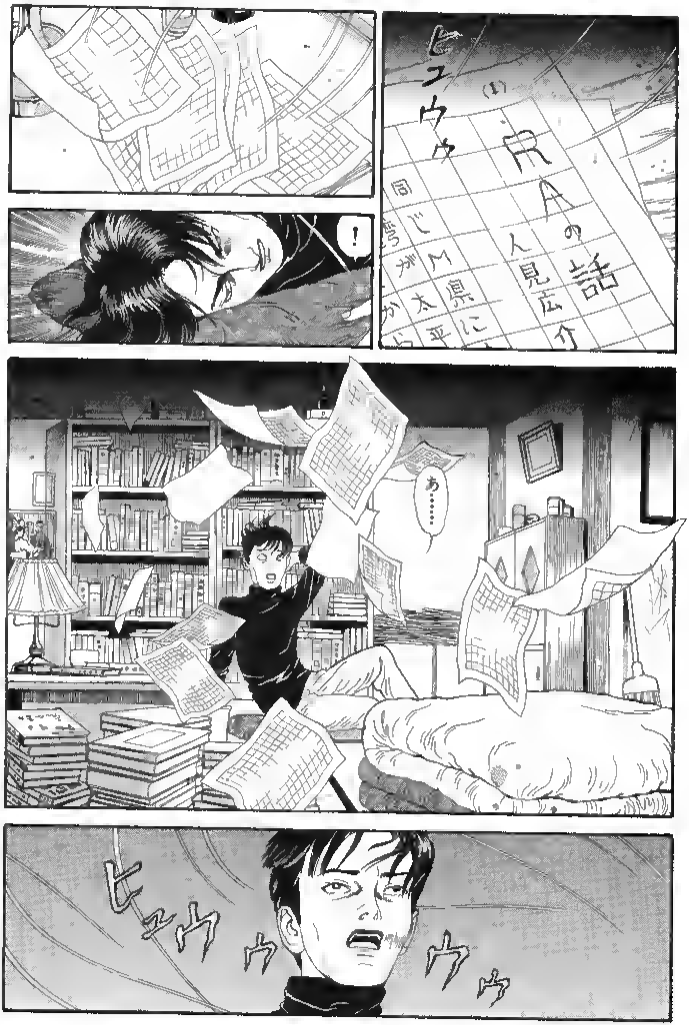
〜パノラマ島綺譚〜

第一章




ドドドド
ドドドド
ドーン

ズ
ズズズズズ
ガタガ
ガタ
しゅん
ガ
ガ


ヒュウウ
(1)
RAの人見広介
話
県に
太平
同じM
ヶ
!
あ……
ヒュウウウウ

大正天皇
死す

聖上崩御

元號制定

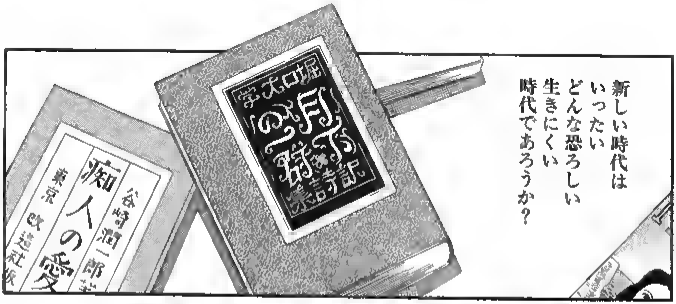
大正は
逝って
しまった

おれが
昼寝を
してる
間に

おれのような
愚図は

新しい時代の
速度について
ゆけない
だろう

新しい時代は
いったい
どんな恐ろしい
生きにくい
時代であろうか？



『RAの話』

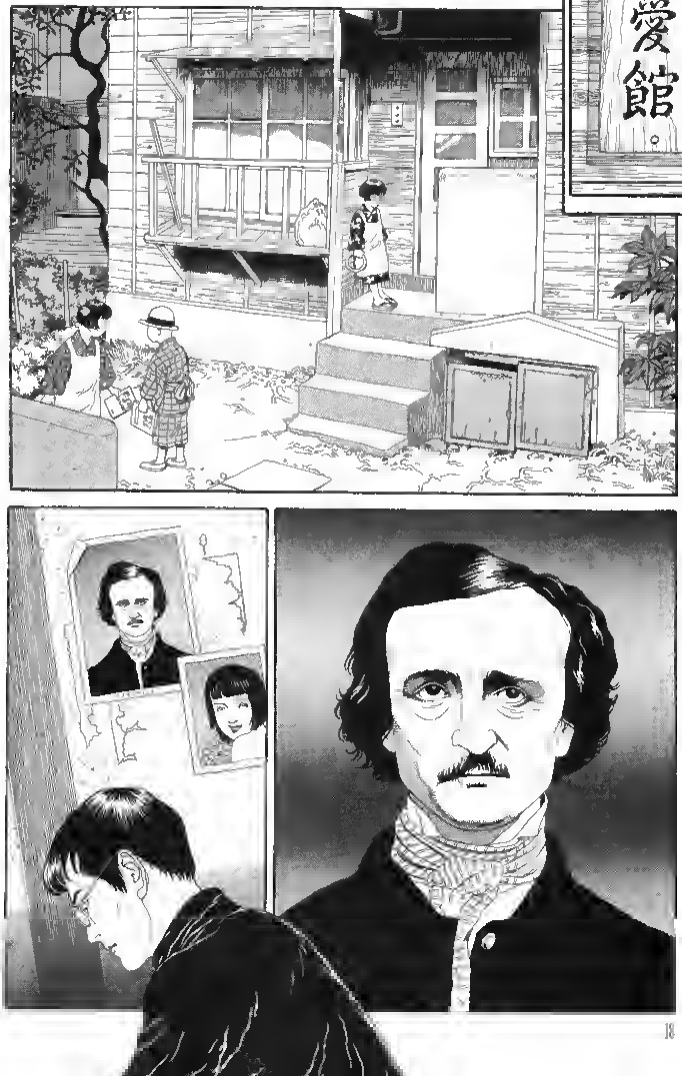
人見広介（ひとみひろすけ）

主人公が
偶然
巨万の富を
手に入れる

その金で
日頃彼が
夢想する
地上の楽園を
建築する

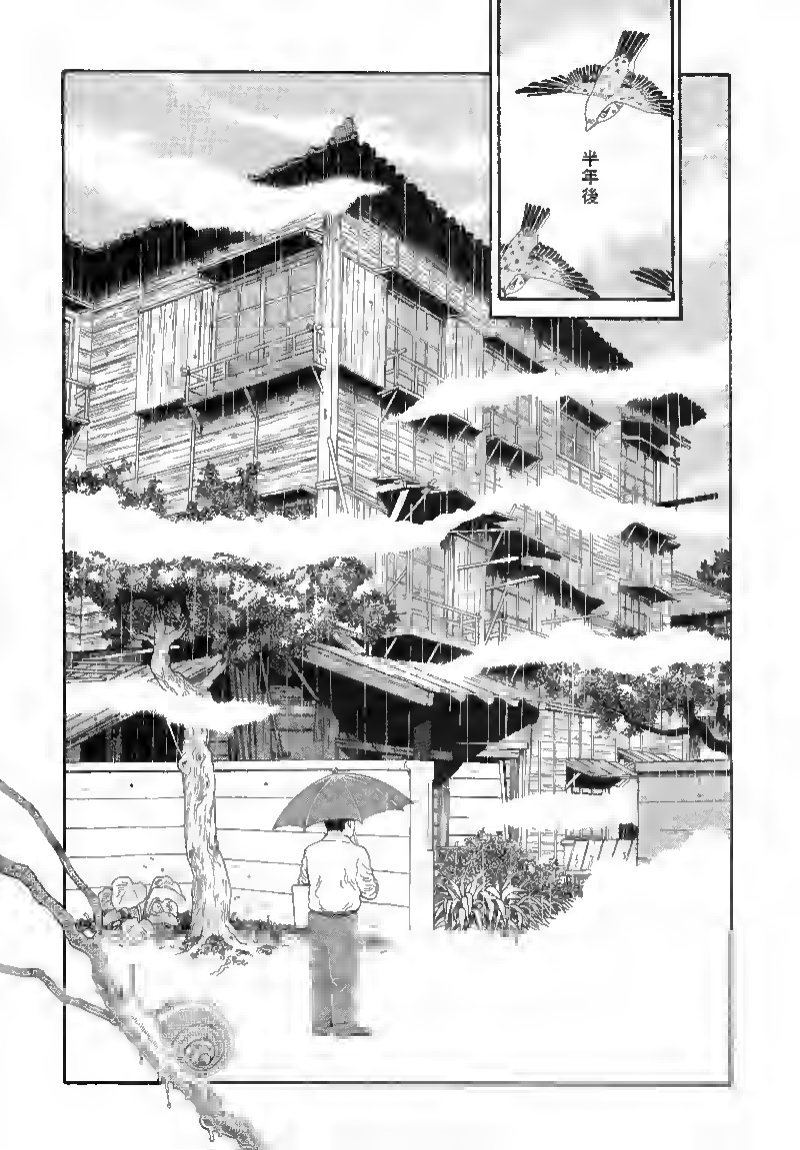
また
ユートピア
小説か
……
人見くん
よほど
エドガー・
ポーの
『アルン
ハイムの
地所』が
好きなんだ
なあ
それに
「もし我に
巨万の富を
与えるなら
ば」
って
これ…
どっかで
読んだ
ような
ズズ
いや
ダメだと
いって
るんじゃ
ないんだ
あなたは
自分の
趣味嗜好に
はしり過ぎ
るのだよ
もっと
自分の
身の周り
のことを
書いて
みては
あなたの
近所には
逸事だって
あるし

ヒューウウウ
地下鉄
地下鉄
地下鉄


友愛館。

もし
我に
巨万の富を
与えるならば
海底トンネル
強化ガラス板
広大な地所を
買い入れて
数百数千の
人を役して
日頃
おれの
考えている
地上の楽園
美の国を
造り出して
見せるのだが
機械の図

一杯やりたいな
誰か奢ってくれないかな…
はぁぁん
頭が痒い
人見さん！
人見さん居るンでしょう!?
家賃の催促かい
地上の楽園の前に下宿の家賃を
はは
はは
はは
はは


半年後

よく降るなぁ
サーー
もう六月か
時間だけは過ぎてゆく
おれに構わず
家賃なら払ったが
ピッ
人見くん
兎月書房だ
おっ！
お邪魔します
どうぞ

困ってるんじゃないか
どうも
彼が死んだぜ

君の兄弟
蔵田源三郎
が
えっ!?
学生時代
君と蔵田は
双生児と見紛う
ばかりに
そっくり
だった

よく双生児といってからかったもんだが
君達だって気になっていただろう
むこうは紀州でも一番の富豪の御曹子
こっちは下宿代も滞る貧乏学生なのにね

これを見たまえ
どう？
眼鏡と髭の違いはあるが君達は今もよく似ている
似てないね！
バサッ
昭和の指導者達③
亡くなる半年前の蔵田だ
蔵田源三郎氏

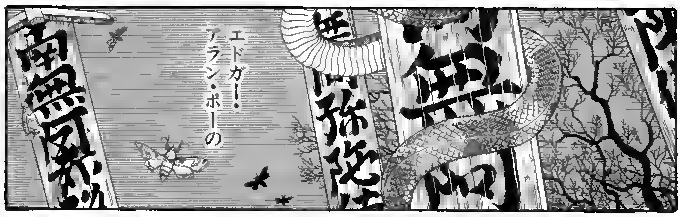
トン
トン
トン
トン
「RAの話」
使うかも
しれない
じゃあ
また！
あの
荻田が
死んだ
……！

三重県随一の
富豪
荒田源三郎
彼には
喘息の
持病があった
香竄葡萄酒
突然の発作が
荒田に早過ぎる
死を！

だから
それが
どうした!?
はは
はは
なにを
考えている
雨
やんだね
ばかばか
しい!
堂スピエ
大黒
愛玉子

愛子
旅館
人は死ぬ……
あっ！

南無阿弥陀仏
棺桶の中で
蘇ることが
ある
嘯息の
発作による
死なら
なおさら


南無阿弥陀仏
エドガー・
アラン・ポーの

「早すぎた埋葬」は
土葬の恐怖で
あって
我が国の
ような
火葬国では
ありえない
だが！

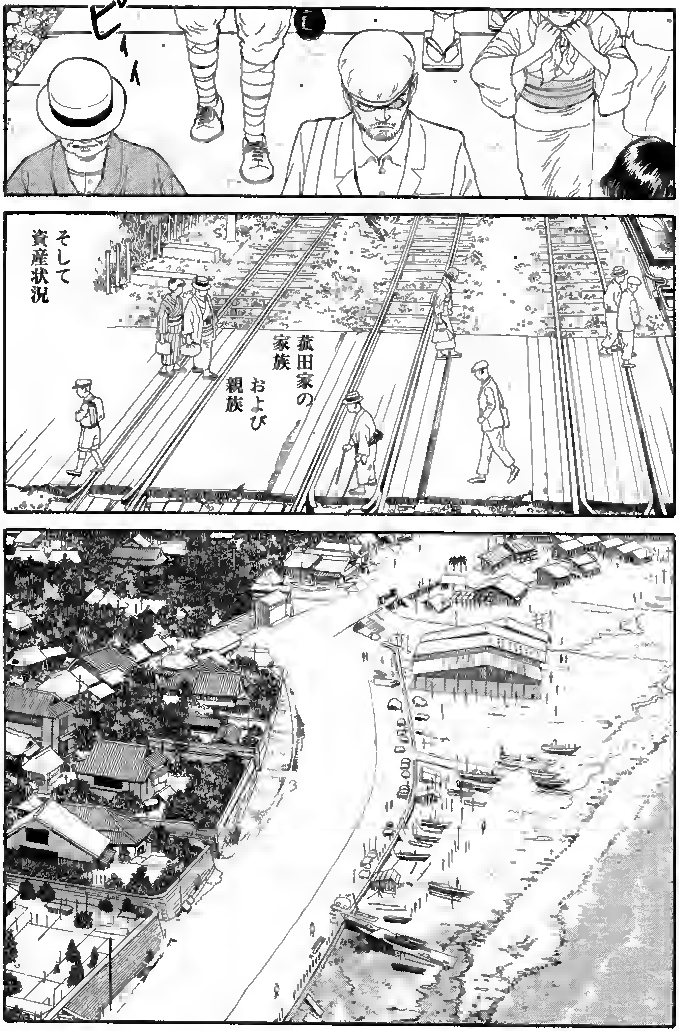
菰田の地方では
土葬なのだ
ことに
菰田のような
資産家の家では
火葬を忌む
痛
もし
死んだ
主人が
一週間後に
生きて
帰ったと
したら……
ばかネ
そうだ
おれの考えは
馬鹿げた
妄想だ

だが
その馬鹿げた
妄想が
おれの
内部を
赤々と
照らして
いる
あ…
あぁ
あぁ
あぁ
カラーン
カラーン
なにを
躊躇(ためら)う!

人見広介を消して
蔵田源三郎になろう！

第二章

ボオオオ
ガタン
ゴトン
ガタン
ゴトン
調査すべきこと
ガタン
ゴトーン
荻田は土葬されたか？
墓はあばけるか？
ゴトンゴトン


ピィィ
荒田家の家族および親族
そして資産状況

あら！
荒田の奥様！
えっ!!
アラキ衣料店

ガタン
ゴトン
ガタン
ゴトン
ガタン
ゴトン
ガタン
ゴトン
ガタン
ゴトン
ボオオオ

アラ人見さん
ドドドドドド
ドッドッ
フン三文小説家
バタン
孤田が死んで五日
急がねばならない！

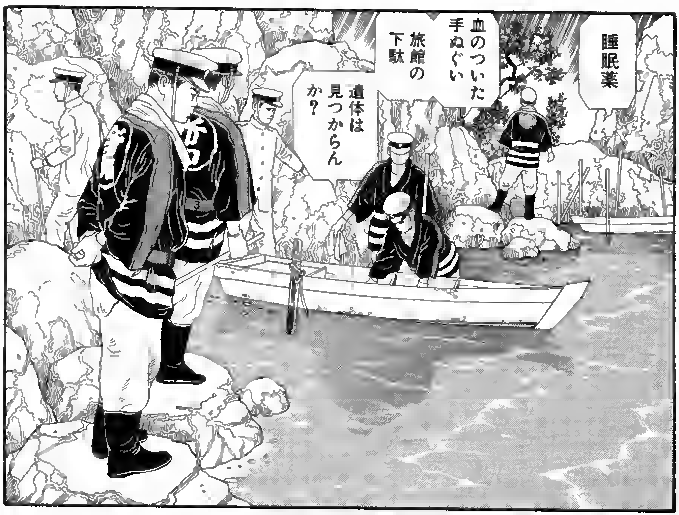
再び帰ってくることはない
ゴトーン
ゴトーン

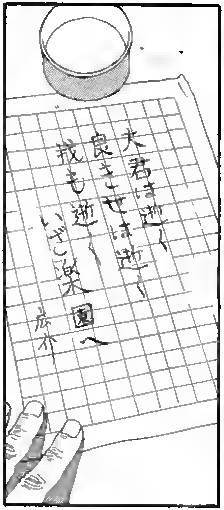
ザァ
大君
ナガァ
ザァァァ

ナゲ
アア
うっ！
ズッ
ヒロ
ッ

人が死んでる!?
本当!?
たいへんだ!
ワーワー
屋の下に人が挟(はさ)まれている
あっ
汽車の時間が!
ドヤー
わぁ
コラァ待たんかい!!

ピ
はぁ
はぁはぁはぁはぁ
はぁはぁはぁはぁはぁ
ピィィィ
669
はぁはぁはぁ
はぁはぁはぁ
ガタン


睡眠薬
血のついた手ぬぐい
旅館の下駄
遺体は見つからんか？


夫君は逝き
息子は逝き
我も逝く
いざ楽園へ
康本

Chujang
中将湯

命待ちの
島といっても
特別なもの
ではないな
昭和二年八月二十日
俗名 孤田源三郎
享年三十八才

菰田
許せ！
はっ！
ガッ
ガッ
ガッ
どうやら
灯りの
必要は
なさそうだ
月の光
だけで
充分だ
無阿弥陀

ガッ
棺！
ガッ
ギギッ
うっ……！
バキッ

おお……!!!
蒜田!?
これが……!?

腐敗はあまり進んでいないようだ
顔が変形しているのは腐敗ガスのせいか……
この地方では埋葬者の髪を剃るのだ
だからこちらも頭を丸めた
わっ!?
気のせいか……
ははは……
はは
はは
はは
はは
はは
はは

うわっ…！
肉が一緒にとれた
指輪がぬけない
ズル
だが
早くもこの異臭に慣れてきているではないか
はぁ はぁ はぁ はぁ はぁ はぁ
なんて重いんだろう
強くつかむと体が崩れるかも
南無阿弥陀仏
為哥當声

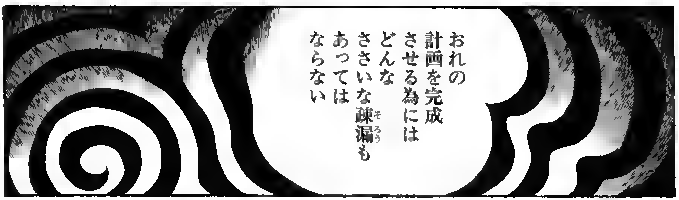
自分自身を
この世から
消すのに
たいした
苦労も
なかったが
さて…
これを
何処へ
消すか
？
目立たぬ
墓の
脇にでも
埋めよう
ナアアア
ガッ
イッ
土が固い
ガッ
ガッ
くそっ
蚊が…

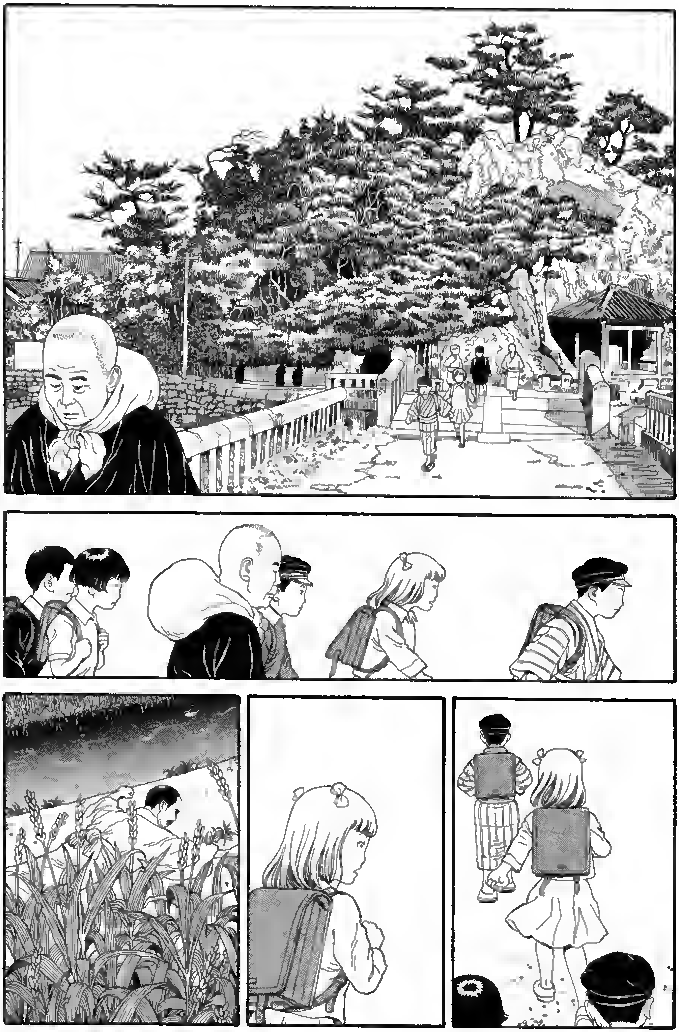
おや!?
しまった!!
歯を治療している!!
やはり……
歯が……

この歯と
ギリギリ
おれの歯をとりかえる
ううっ
こんなことをしてまで……
ゴオオオ

荒田よ
嘘
いつわり
でなく
おれは
君に
肉親以上の
親しみを
もっていた
のだ
南無阿弥陀仏

枯葉を撒いて掘り返した土の跡は隠した
だが…これでいいのか……なにか見落としてはいないか


おれの計画を完成させる為にはどんなささいな疎漏もあってはならない



あれ？
なにやら寝てる
なに？
なんじゃコレ？
死人（しびと）や!!
死人や!!

死んでる！
死んでる
あっ!?
こ…
蕪田の旦那!?
蕪田の旦那が！

荒田の旦那が生きかえった！
墓場から出て来た！
信じられぬ！
荒田の旦那が！
そんな!?
死んだ者が蘇った!?
なんということじゃ

そっと
頭を藁の上に
急がなくていいよ
あまり揺らさないように
ガラガラガラ
ゆっくり……
ガラガラ
ガラガラ

第三章

旦那様が!!
旦那様が――!!
源氏入浴
吾百代を過ぎて
西浮世若夢
お帰りになる!?
そんなぁ!
ガチャ!
ドスン

なにやってんの!!
早くお湯を用意して!!
すみません!
奥様は?
奥様は大阪です
電話をいたしましたすぐにお帰りに――
皆様ご心配おかけしました

ご足労でした
後日ご報告にまいります
おっ警察の署長だ
どうでしたか？中の様子は？
筑田氏とお話しできましたか？
先生！
奇跡です！

内臓の機能が低下していますが
危険な状態ではありません
しかし念の為に入院を――
何故こんなことに――
カタレプシーというものです

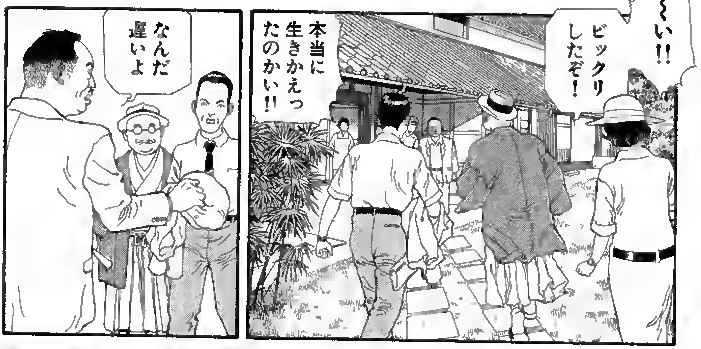
どう？
どうも
こうも
……
ふう～
なんだか
よく
わからんな
かたれぶ
しいとか
あいつ
名医だって
いわれてる
けど
自分の
診断に
自信が
あるとは
思えんな
難しい
学術用語
を並べて
素人を
納得させて
いる
みたいな

いったん仏になった人間が
自力で墓の下から還ってきたんだ
どんなもっともらしい診断も納得できるモンじゃないが
やはり入院を
むろんです
良好に見えても
どこに障碍があるかも
入院はイヤだよ……
えっ!?
起きていらしたのですか!?
源三郎が病院を嫌いなことは知っていた学生時代から

あっ
うう……
横になっていて下さい
腹が空いた
火の用心

少しでも死人に近づく為2日間なにも食べずにいた
ジソとおれを見ている…
どこかおかしいと思っていないか…
おれの箸の持ち方でニセモノだと見抜くのではないか
むっ!?
あ…
あのななにか!?

治療していた歯がとれてしまった
この親爺が荒田家の金庫番の角田か
この角田の
協力なしにはおれの途方もない事業は実現しない


おくい!!
ビックリしたぞ!
本当に生きかえったのかい!!
なんだ違いよ

もう元気に飯喰ってるよ
飯

本人に会うまでは信じられんよ
そうだよ
よく似た奴が旦那になりすまして荒田の資産を乗っ取ろうとしているのかもしれんじゃないか

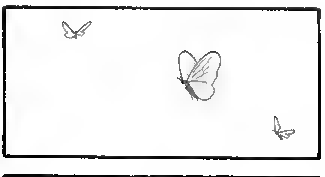
あ
お引きとり下さい
なにいってやがる！
旦那様はお休みです
会えません
こっちは心配してわざわざ――
心配して……
なんのご心配でしょうか？
なんだと!!

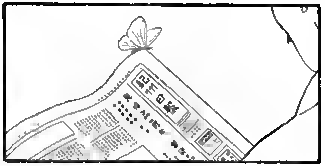
千代子！
うれしい！
あなた！

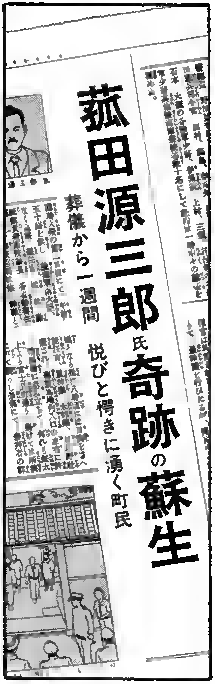
だけが
妻
知ること
あら……？
変ね……
こんなところに黒子（ホクロ）が
誰!?
誰なの!?
うう……!!
あなたは……

うぅうぅ……
あっ…
あなた！
千代子…！
わぁあぁぁあ
わぁあぁぁあ

あなた……嬉しい！
嬉しいわ私……






蒜田源三郎氏奇跡の蘇生
悦びと愕きに湧く町民
葬儀から一週間

困ったな
眼鏡が
ない

細かい
字は
読めない

石橋工務店
から
お祝いです
大豊ホテル
から
お祝いです
本宮不動産
から
お祝いです

農協からお祝いです!!
お酒は台所に置いてね
角田さん!
はい
これなにかしら?
それは旦那様の治療した歯が抜けたのです
あぁ!
たしかにこれは主人の歯ですね

人の生き死には本当に夢のようですね
角田さん
これからも主人をよろしくお願いします
おや!?
これは
十九歳で夭逝したという源三郎の兄
孤田家は夭逝の家系なのか？

父親も
五十三歳で
亡くなって
いる

源三郎夫妻の
子供は
生まれる前に
死んだ

千代子は
二度も
流産
している

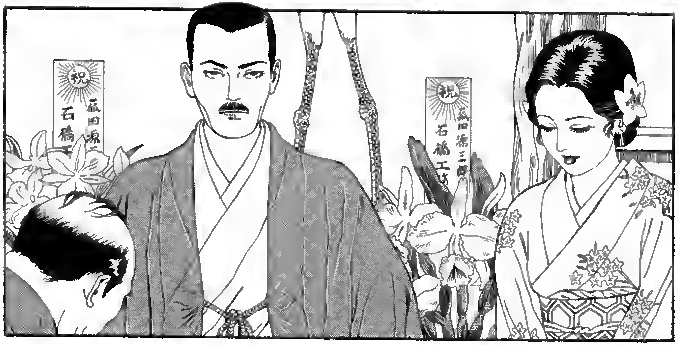
千代子…
美しい女

可哀そうな女

さすがは
蔵田
風呂場も
贅を
つくして
いる
だが
俺の計画は
遥かその上を
ゆく
あなた
新しい下着
ここに
置いて
おきますね
お背中
流しま
しょうか
？
えっ!!
い…
いや
いいよ

背が
おれに
いや
畦田に頭を
下げている

蔵田とはそういう家なのだ
来週には床上げのお祝いをしましょうね
皆さんお祝いに来て下さるわ

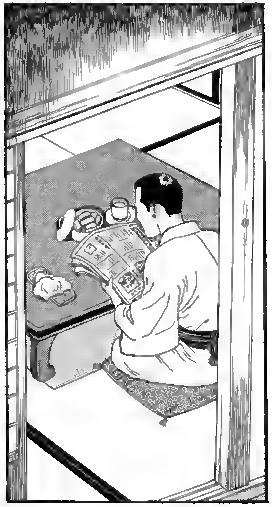

祝
祝

おめでとうございます！
ありがとう！
オカヘリナサヒマシ
今度ともよろしくお願いします
あなた……
どちら様でしたか？
西山ですよ
「ホテル伊賀」の
脳味噌が半分死んでいるもので
知ったかぶりは禁物だ
はは
はは

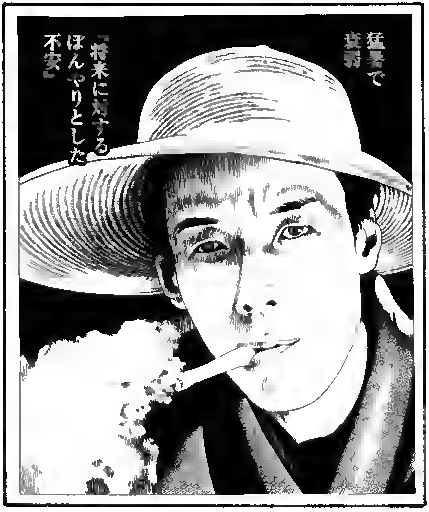
それでも
だいぶ
解かって
きた
荒田の配下に
ある各種事業
その幹部達
なにげない
雑談の中
からも
多くの
情報を得る
ことが
できた
なによりも
皆が俺を
荒田源三郎
だと思って
いる

だが
一方で……
皆
俺の正体に
気づいて
いながら
調子を
合わせ
裏で
俺の
道化ぶりを
笑っているの
ではないか
とも思えて
くる
ゴホ
ゴホ
ヒク
いや
道化では
ない
俺の
咳ひとつで
皆の顔色が
変わる

別の部屋で横になられては
いや…大丈夫
それより……
こんな席で言うのもなんだが――
は？
いや…今度話すよ
仕事の話はやめよう
菰田の若旦那が全快だ！
お祝いだヨ～!!
祝 菰田源三郎様
無料です!!
一人二個ずつですよ!!

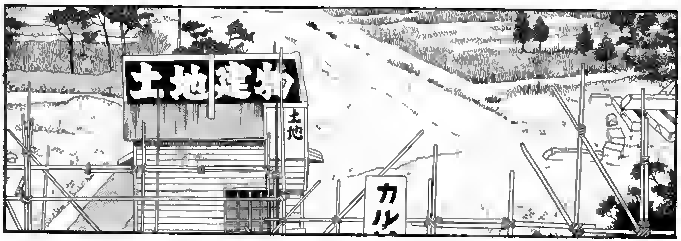


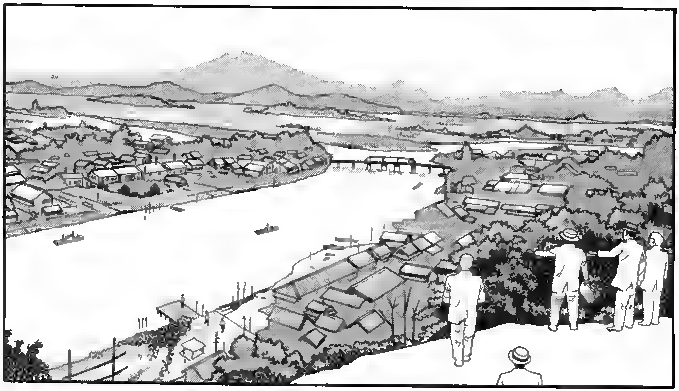
1927年7月25日
芥川龍之介氏自殺
東京は連日の猛暑　睡眠薬常


猛暑で
衰弱
「将来に対する
ぼんやりとした
不安」

あなた！
お祝いの花火ですよ
ドドーン
ドドーン
千代子
これより百倍の花火を上げて見せるよ

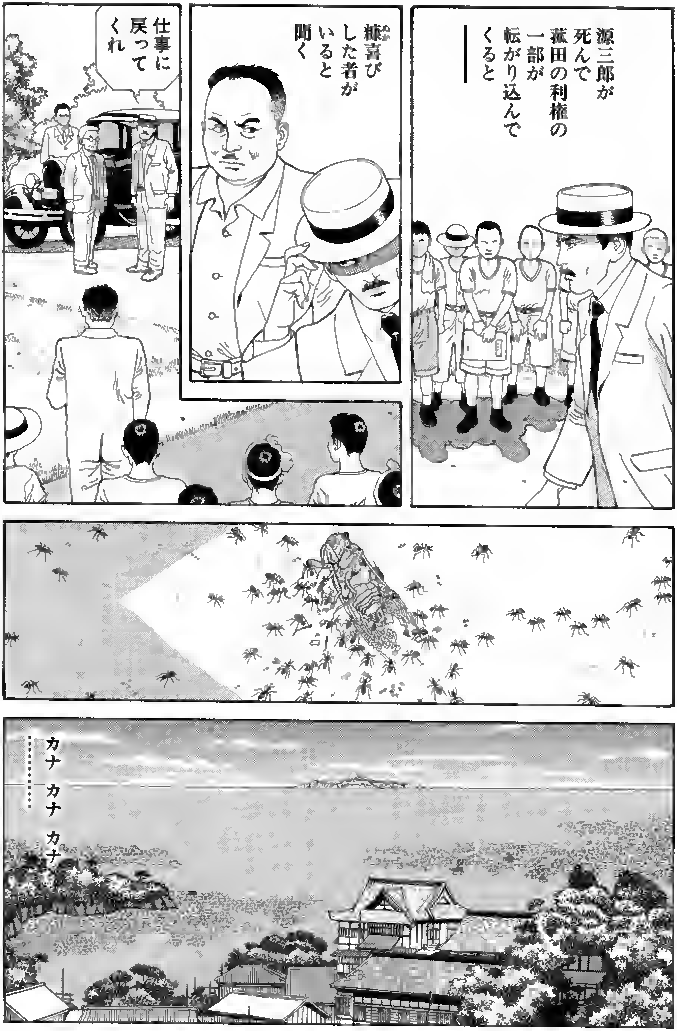
第四章


土地建物
土地
カル



※トイフのフリードリヒ・ホフマンによって造られた十六角形の窯。
これにより煉瓦の大量生産が可能となった。

広大な森林
田畑・漁場が
さらに
工場・ホテルが
荒田の手中に
あった


源三郎が
死んで
荒田の利権の
一部が
転がり込んで
くると
囁き
した者が
いると
聞く
仕事に
戻って
くれ
カナ カナ カナ

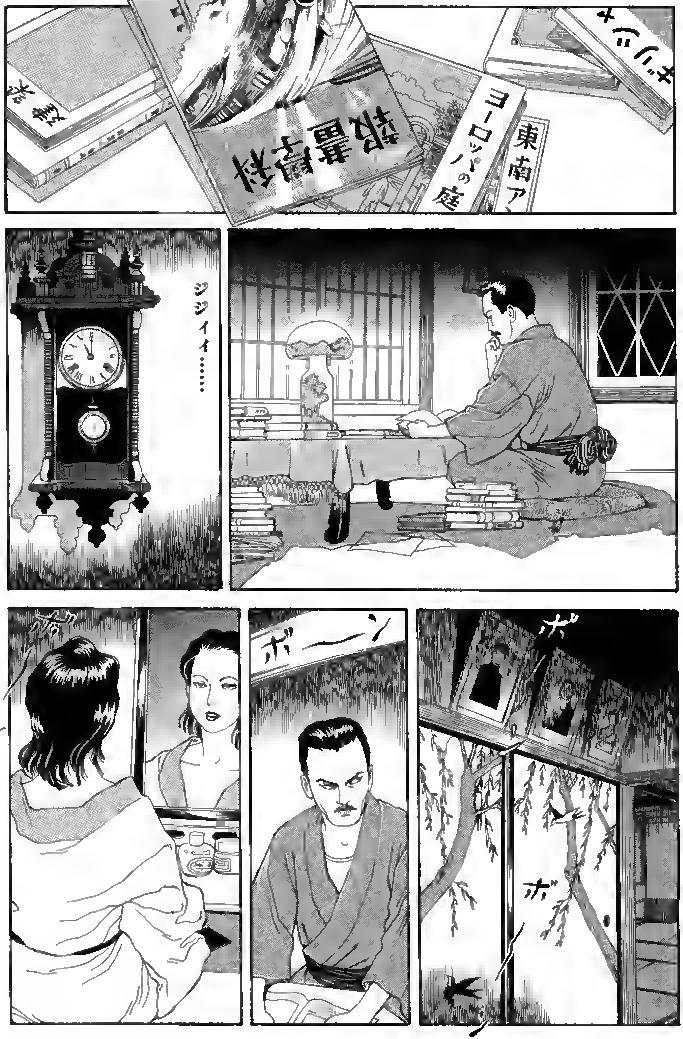
ここから沖の島がよく見える
あんな所に遊園地を作ったら面白いんじゃないかね
遊園地……？
あんな淋しい離島にですか？

私は……
いくつまで生きられるかな
えっ!?
親父は五十三で
兄貴は十九で死んだ
私も三十八歳で一度死んだ
私は自信がない
南無阿弥陀仏
五十歳まで生きられるか……
そ そんな……

どうせ
永く生きられ
ないのなら
私の
夢を実現して
みたい
自分が
この世に
生きた証しを
残したい
遊園地を
作るんだ
よ
「夢」と
申しますと？

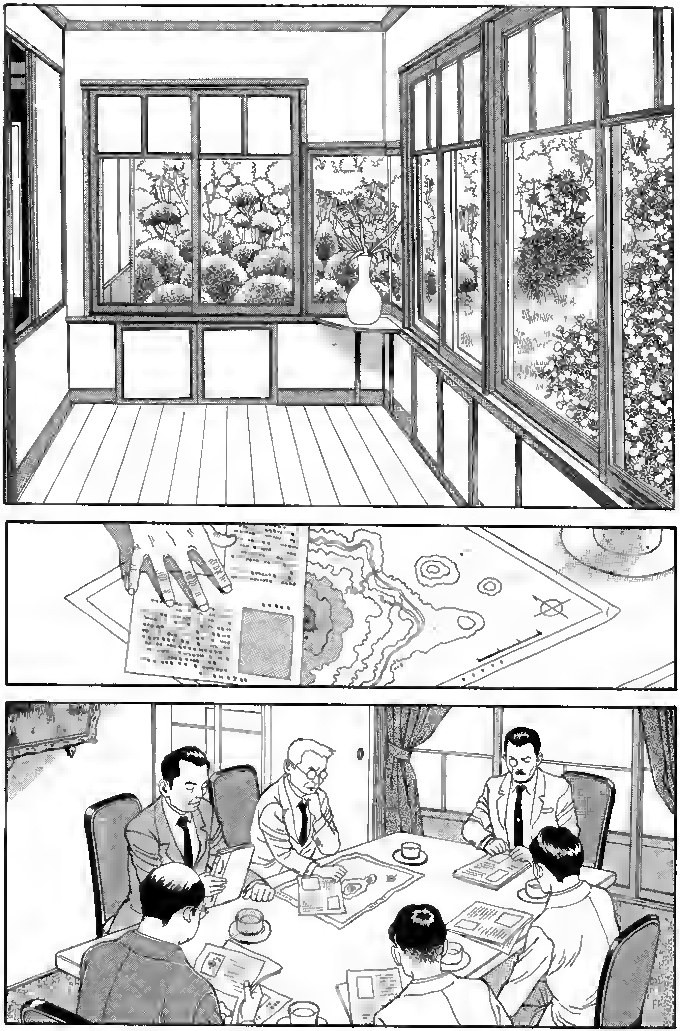
子供向けのものではない
大人が楽しめる壮大な楽園を！
それが私の唯一の最大の夢なのだ
しかし
今までそんな話は一度もなさったことがないのに
ガタ
言へなかったのだ!!
協力してくれ!!

自分が
この世に
生きた
証しを
残したい!!
この世に
生きた
証しを
残したい
これくらいの
ことを言わねば
この男の
気持ちを
動かせない


東南アジア
ヨーロッパの庭
ジジィ……
ボーン
ボ
ボ

ボソ
千代子……
俺を待つな
俺を見るな
千代子よ眠れ！

俺が触れても目醒めるな



しかし
何故
沖の島に
あの島に
どうやって
集客するの
です
船を
使うさ
その船も
うちで
運営する
島全体を
観光化
するのだ
町なかの
騒々しい
遊園地とは
一線を画す
ホテル
レストラン
ゴルフ場
テニスコート
も用意する
沖の島には
まだ電気が
ありません
が……

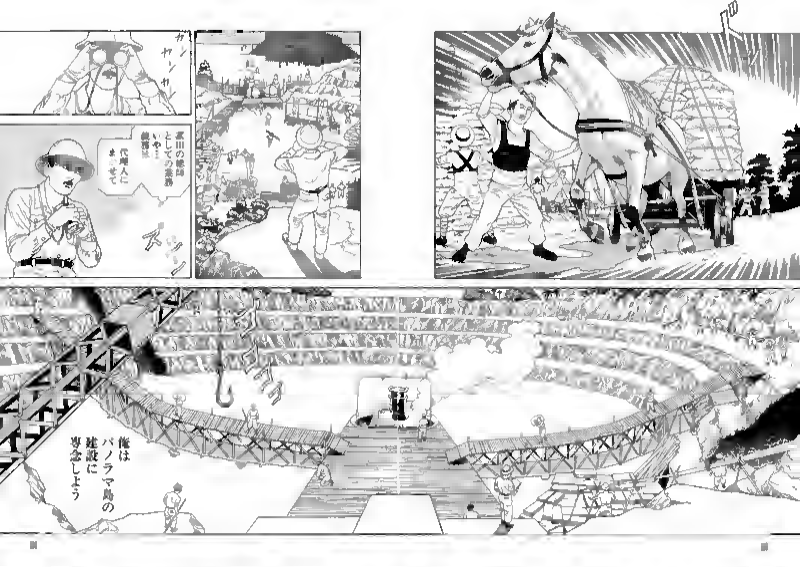
工事をすればいい
予算がかさむのは覚悟の上
これからは消費と娯楽だ
そう思わないか？
……
KOMODA
KOMODA
不景気など吹き飛ばしてやるさ！
さあ！
始めよう!!

沖の島にはまだ漁師の家が
数軒残っておりますが
新しい家を与へ
移住させなさい
この書類を石橋工務店に届けておけ
このあたりに彫刻家はいないか
仕事を頼みたい
はいすぐに手配します
沖の島の下見に行く
準備してくれ

行ってらっしゃい
……
ゴゴゴ

この忘れられた
離島が
楽園に生まれ
変わるのだ！

この事業は
多くの組織と
個人に
仕事を提供
する
地元も
活気づく
だろう
ゴッ
ゴゴゴゴゴ


ガンガン
ガン
ガン

基礎工事だけで半年？
あるいはそれ以上
なにしろ――
『水中回廊』というものを
これまで造ったことがありません
ゴゴゴ

ドスドス
ガタ
会長!!
やっぱり来たか
あの工事はなんです!?
遊園地だなんて
正気ですか!?
私達にはなんのことわりもなく――
あんたにことわる必要があるか
なんですと!?

俺だって大きな工場をまかされてるんだ

菰田がもし破産したら俺達まで――

君！言葉が過ぎないか

遊園地なんてダメに決まってる！

破産!?

いや

あんたの心配もよくわかる

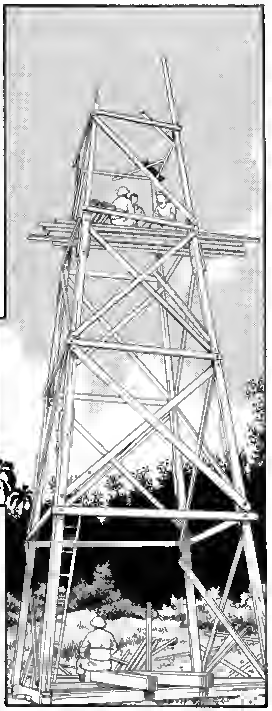
考えよう

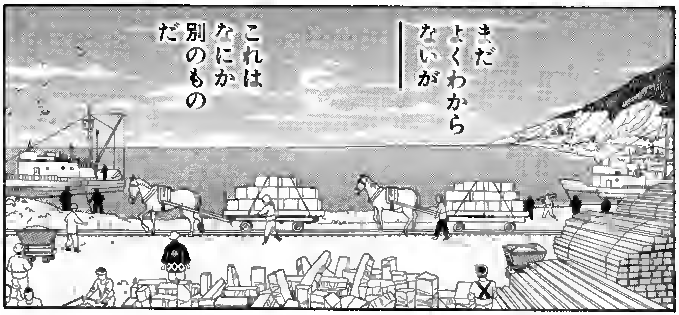
あら？奥様どちらへ？

あの男にレンガ工場をくれてやらないか？
えっ!?
レンガ工場を瓢田から切り離すんだどうだい？
切り離す……
関東大震災によってレンガは弱点をさらしたこれからはコンクリートの時代だ
今後レンガ工場が瓢田のお荷物になるおそれがある
今のうちに切り離しておいた方が……
そうですね

ドスン
ドスン
ドスン
ドスン
ドスン
ドスン
カン
カン
カン
カン
カン
カン
人夫を増やせ!!
女でも年寄りでもかまわん!
カン
カン
カン

これは
遊園地とは
思えない





千代子は？
もうお休みになられました
……
気分がすぐれないそうです
……

お宝の持ち腐れか
ゴト
ミロにシャガール
黒田清輝か
こんな絵のどこがいいんだ
原三郎の趣味はこんなものか
すべて売り払おう

この蔵の中全部売れば
大工人夫の賃金すべて払っても余りある……？
千代子……
もしや彼女は……!?
俺の正体を見抜いている!?
毒

第五章

ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
はは
はは
はは

ひゃ
ドゴーン

ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
わあああ
ドン
ドン
ドン
ドン
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ

団員募集か？
楽園の住人……
なんだい？
楽園の住人募集!!
○容姿に自信ある方
○歌、踊りに覚えのある方
○曲芸師
年齢、学歴、性別、国籍、不問
高給優遇!!
主宰
薔田源三郎

タダ酒ぢゃ
飲めぐ

紀州一の
殿様が
俺達
みたいな
芸人ふぜいに
大盤振舞！

中の島の
遊園地で
興行すん
のよ

Why？

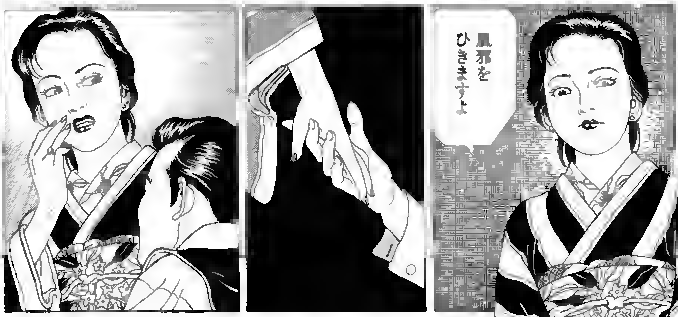
いろいろ苦労もありましたが――
工事は順調です
地元も活気づいております
正直始めは無謀かと思えたのですが
しかし――
予定されていたゴルフ場がありませんが――
ゴルフ……

ゴルフ場なんぞいらん！
だいたいゴルフなどは――
ドスッ
ドスッ
ふふ……
酔ったな……
むっ
どちらへ？
ご用件は？
あんたじゃわからん!!
私に用があるのだろう

旦那!!
ずいぶん気前が良いでんな!
アイツにレンガ工場をくれてやったそうやないですか
それで――
このワシにはなんもなしでっか!?
ばかもの!!
今頃になってなにを言っとるんだ!!
どうしたどうした?
おまえらは菰田の利権に群がるキツネとタヌキ!

この場で絶縁してもよいのだぞ
むろんなにもくれてやらん!!
今まで通り蒲田の配下にいた方があんたの為だ
この男にも飲ませてやってくれ
招待もせず失礼した
ドーゾォ
ちぇっ
ワンは芸人どもと一緒かい
あいつがタヌキなら俺はなんだ?
ハイエナか

あなた……
あなた
皆さんもうお帰りになりました

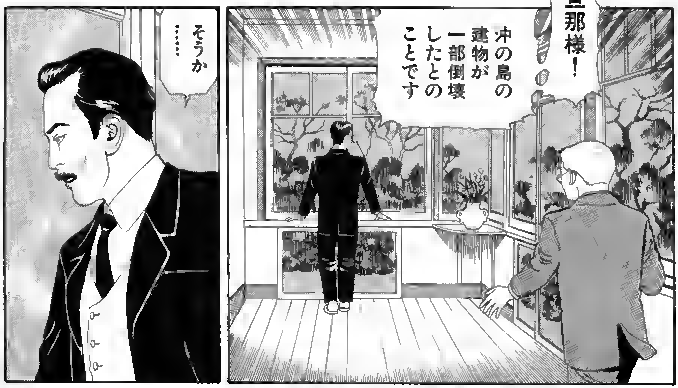

風邪をひきますよ

千代子！
俺のすべてを
見せてやる

だとて
俺の正体を
知ったことか
あの大将軍を
止めるのだ
ぞ

ドドドドドド
わぁぁぁぁぁ
作業中止!!
作業中止!!
ヨオオ

オルガン風琴…
千代子か？


旦那様！
沖の島の
建物が
一部倒壊
したとの
ことです
そうか
……

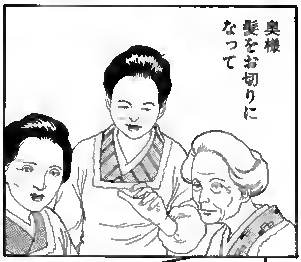
千代子は
ついに俺の
正体を知った

ラララ……
ペンション
ゆき乃

ヤエさん!!
なんですその エプロン
萩田はカフェーではありませんよ!!
すぐ着替えなさい!
いいんだよそのエプロンで
すみません…
君泳げるかい?
え

うちは漁師ですから泳ぎは得意です
そうかいそれじゃ仕事を頼みたい
仕事？
千代子はずっと沈黙している
それがかえって不気味だ

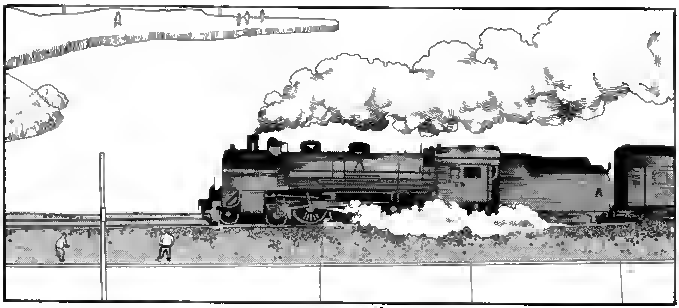
順調に進んでいるようだな
木や花はちゃんと根付いているか
はい！植木はうまくいっております
フィリピン比律賓閣下からも珍しい花を持って参りました

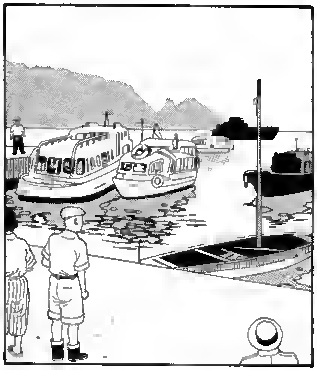

奥様
髪をお切りに
なって

娘みたいに
お若く見える

旦那様の
気をひきたいの
でしょう
旦那様は
すっかり人が
変わられて

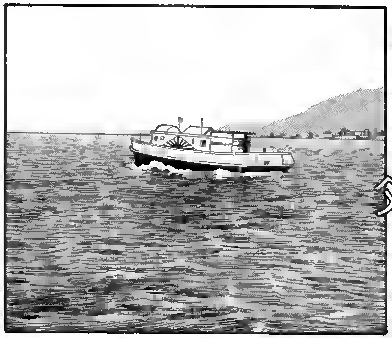
千代子！
すぐに着替えなさい
沖の島に行こう
沖の島！
ボォォ



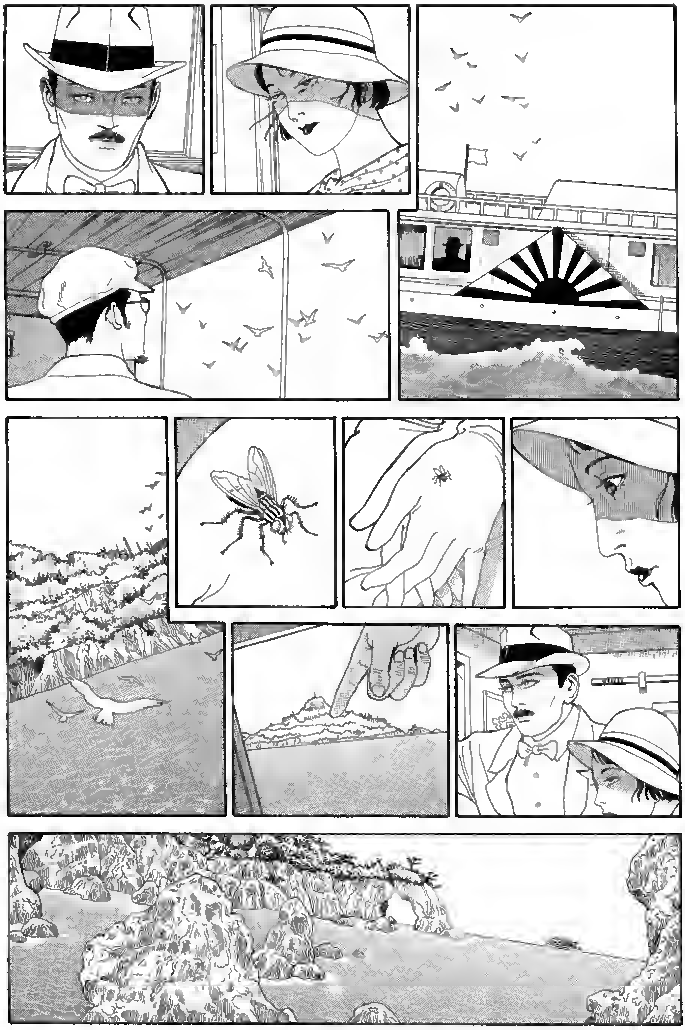


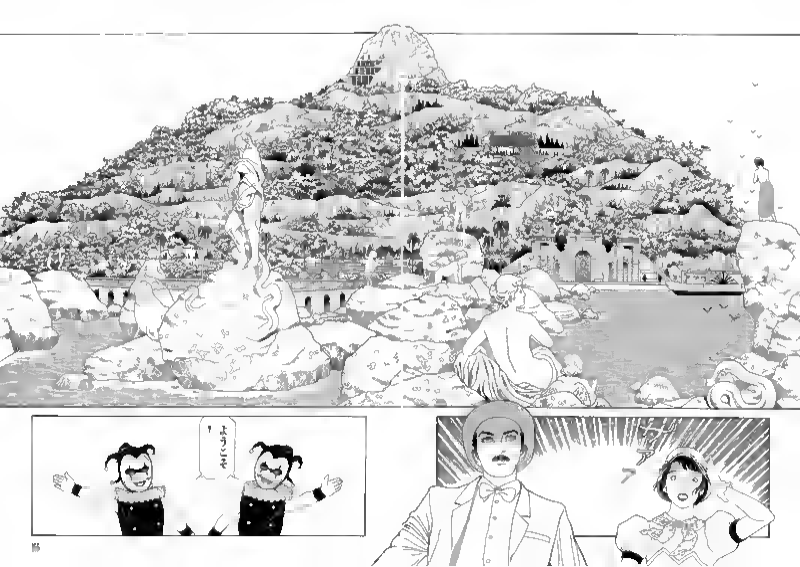
ガタン

ガタン
ガタン



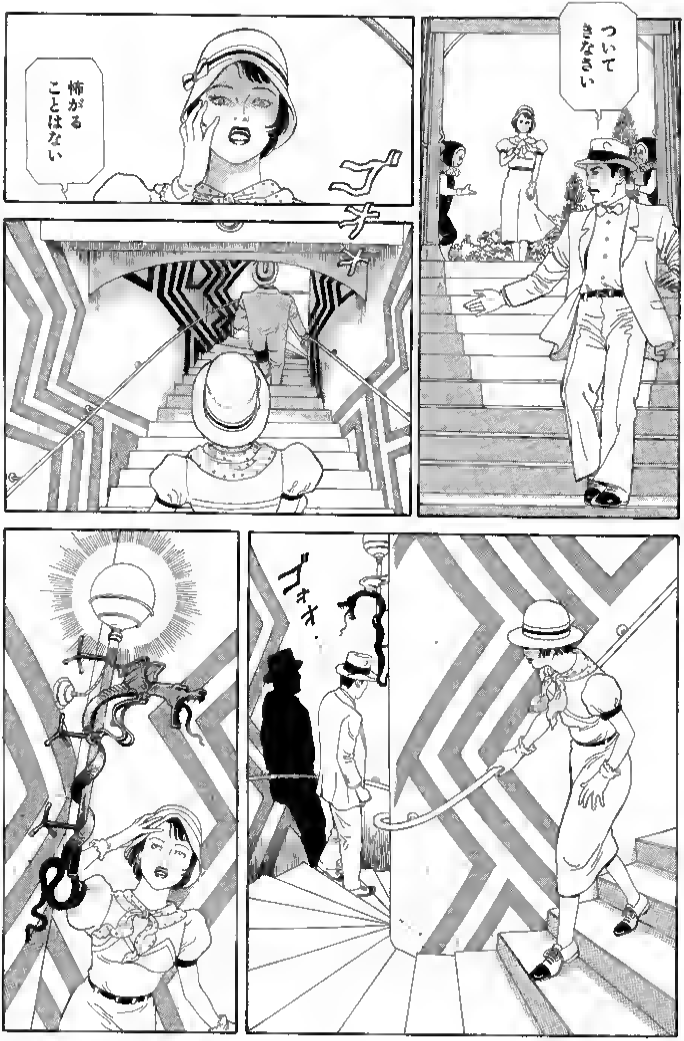
ゴゴゴゴ




ماذا؟!

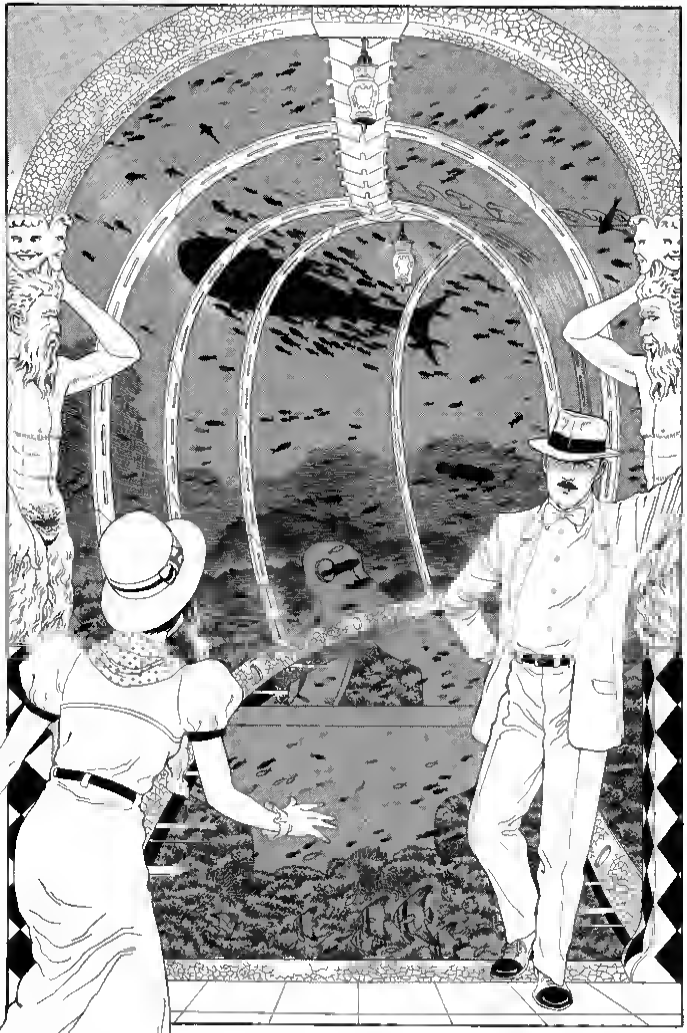
お待ちしておりました
ザァア

こちらだ
ゴオオオ
あっ！


ついてきなさい
怖がることはない
ゴオオ
ゴオオ

あっ
さあ
見て
ごらん！
ギィ
ガチャン

第六章

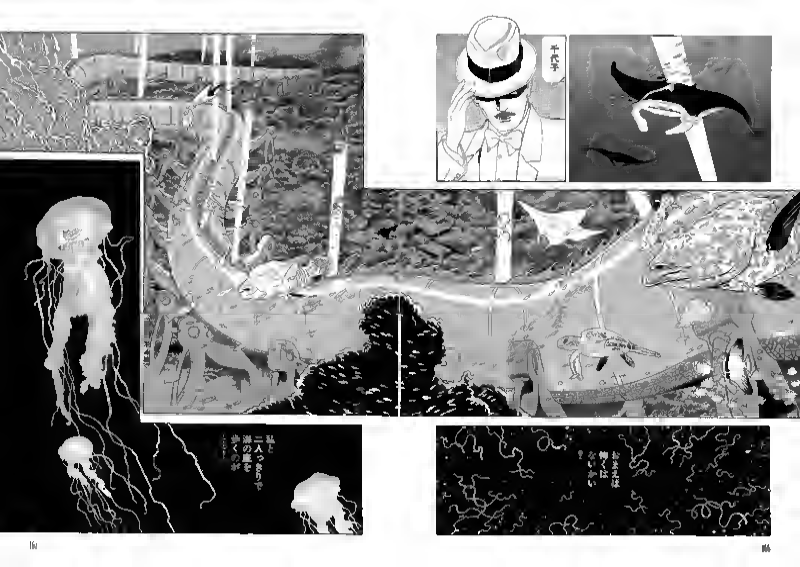


私は
はじめの人形
美しき
かな

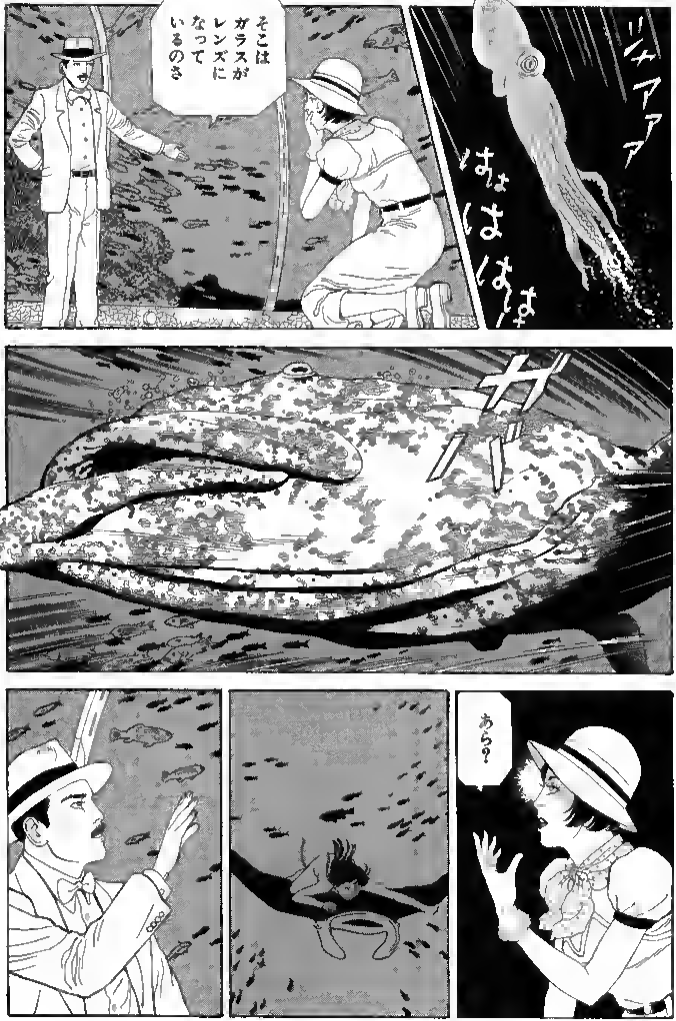
※一九二七年、アメリカのナショナル・ジオグラフィック・マガジンが、世界初の水中カラー写真の撮影に成功した。

私が全財産を投げうち
ブクブク
ブクブク
ブクブク

一生を
捧にふって
始めた仕事
なのだ
私の
芸術品が
どれほど
素晴らしい
ものか
まだ
すべて
出来あがって
いないの
だけれど
誰よりも
おまえに
早く
見せたかった
のだ
ホラ！
覗いてごらん


十代子
私と二人っきりで湖の底を歩くのが……
おまえさまは帰ってはいけない！

ナオミ
怖い……？
きゃあああ
ははははは


リィアア
はぁはぁはぁ
そこは
ガラスが
レンズに
なって
いるのさ
ガバ
あら？

おや…？

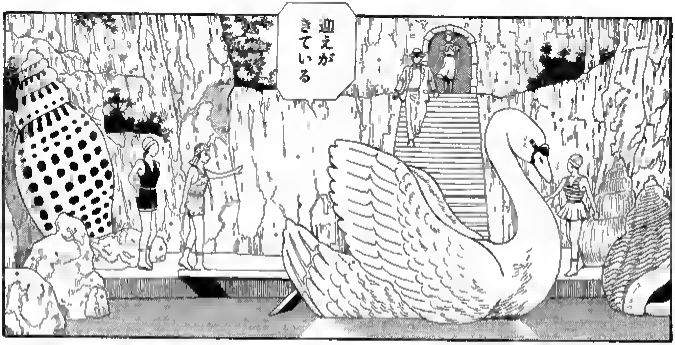
あれは？
もしや……
気付いたかい
女中のヤエだよ

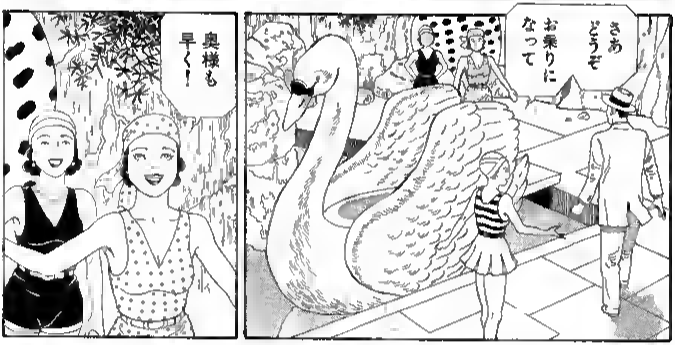
あれが
あの子の
新しい仕事
ですか？
あっ
ガラスが
歪んで
いるのね

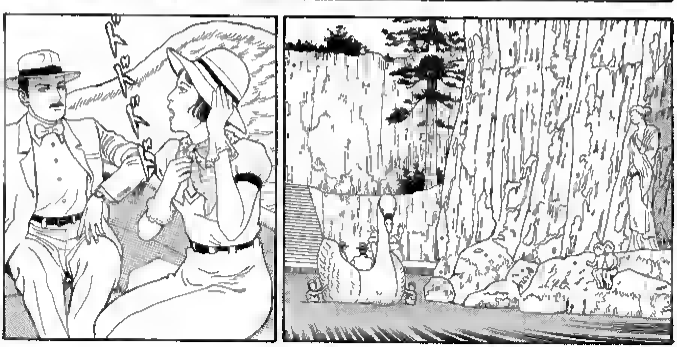
千代子……
やっぱり怖いんだね
震えている…

ブオオ
今日は
ここまで
まだ
途中
なのだよ
完成まで
あと半年
ほどだな
次は
これだ
ヒヒヒ

そこすべるから気をつけて
ヒッ
ピチャ
ヒソヒソ

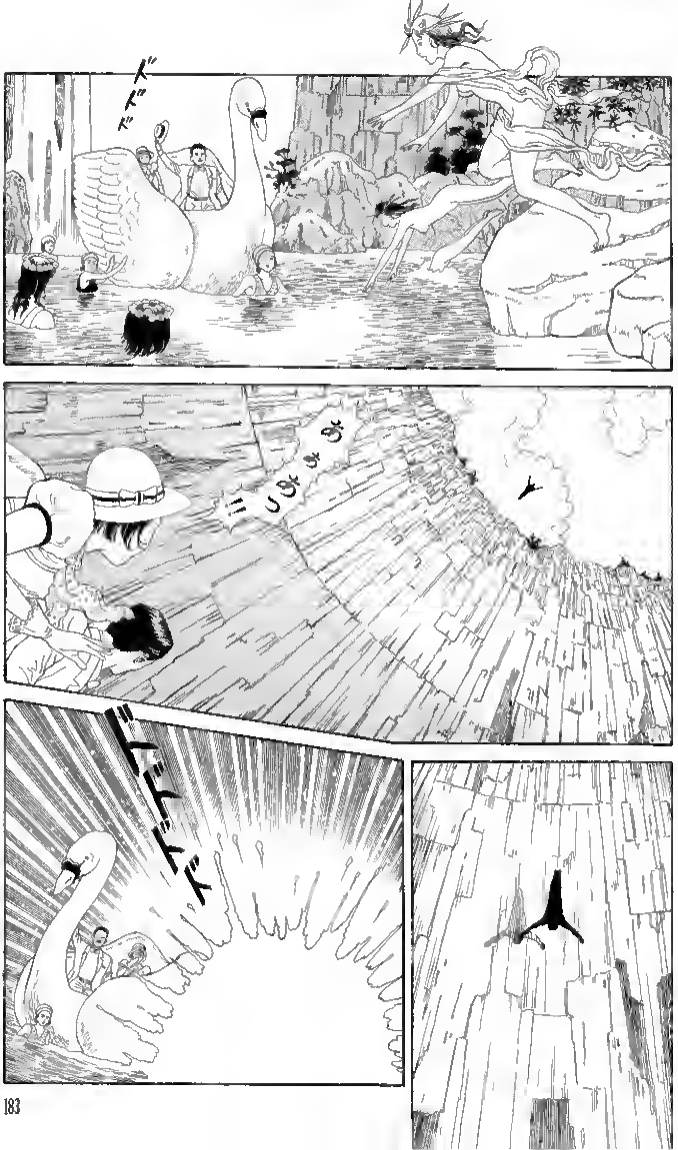

迎えがきている


さあどうぞお乗りになって
奥様も早く！



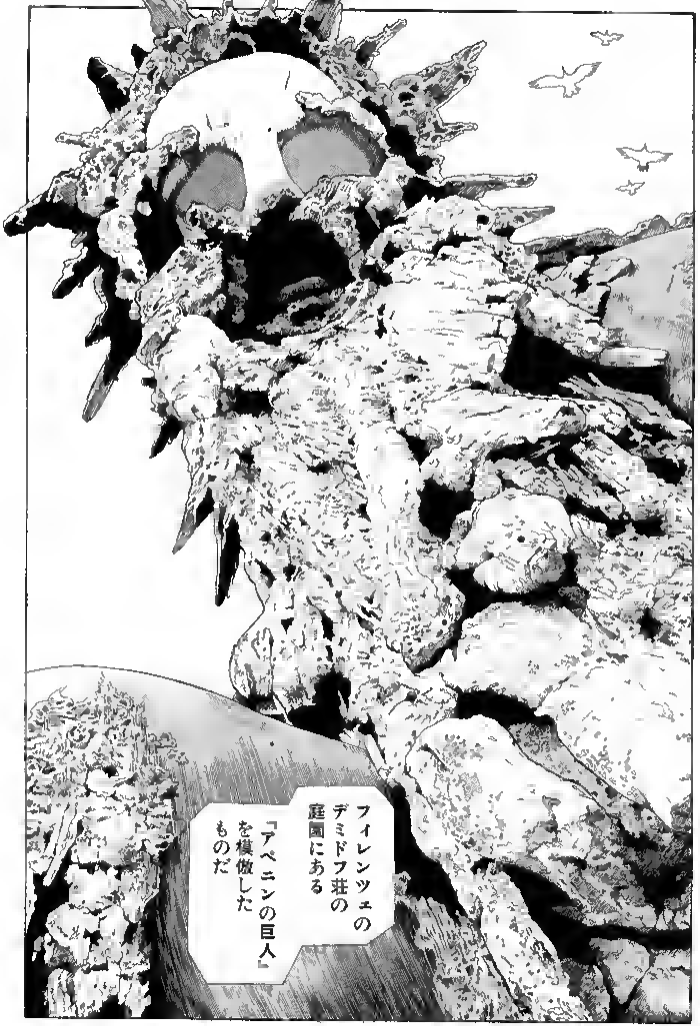
ドドドドド
ドドドド

これが
あの
小さな
沖の島
……？
信じられ
ないわ

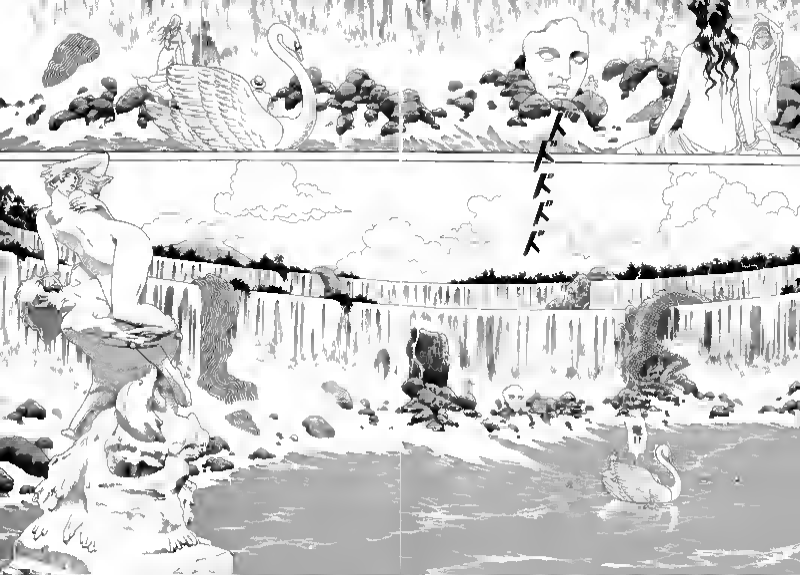

ドドドド
ひひひひ
ドドド

まあ！
花が流れてきたわ

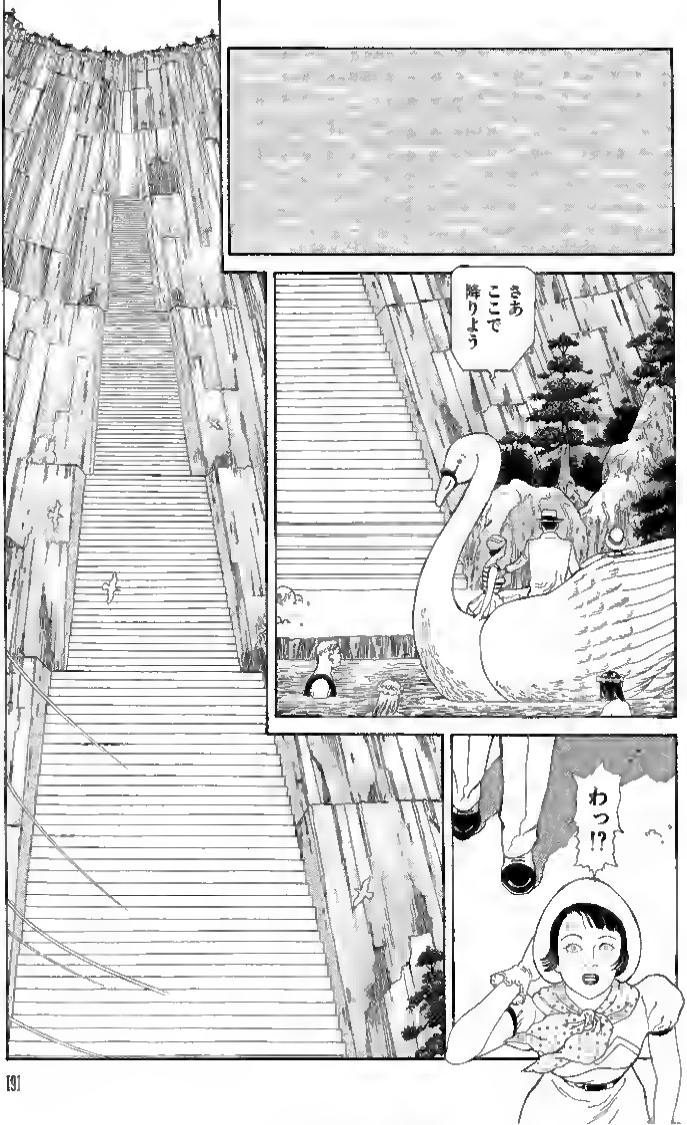
奥様
今度は
あちらへ
参り
ますよ
千代子
あれを
見てごらん
！


フィレンツェの
デミドフ荘の
庭園にある
「アペニンの巨人」
を模倣した
ものだ

ドドド


ドドドド

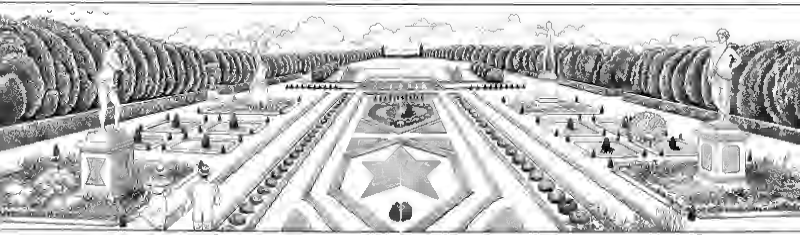
ズズズズ
ここがついこの間まで
貧しい漁師の島だったとは――

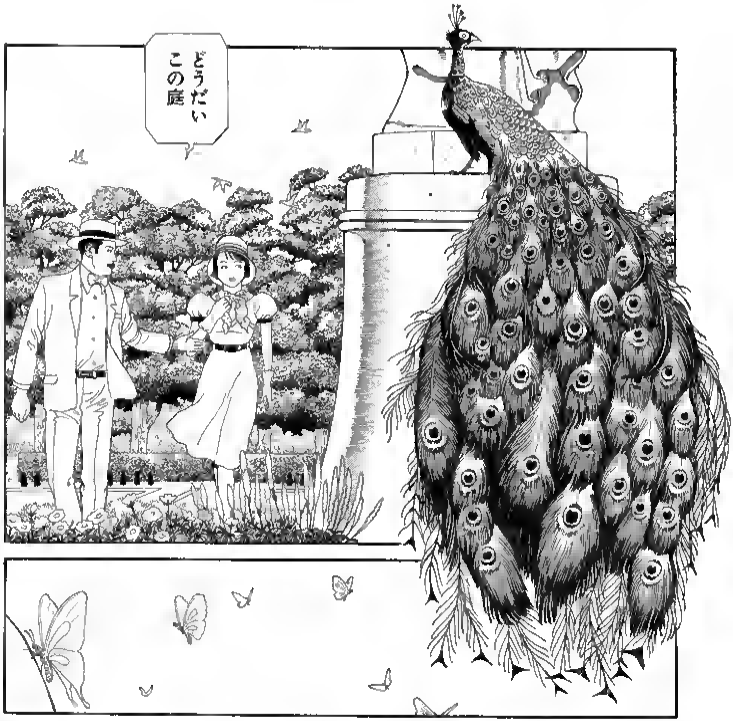

さあ
ここで
降りよう
わっ!?

さあ！行こう
わ…私こんな階段とても登れませんわ
なあにどうってことはない
お気をつけて！
おや？

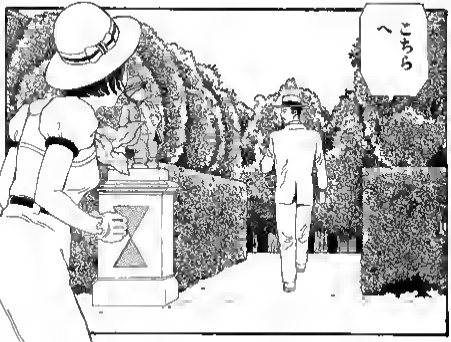
階段の幅が
少しずつ
狭くなって
いる
ホラ
もう頂上だ
不思議だ
わ
数百段は
あると
見えた
のに
ヒュウ
疲れた
かい？

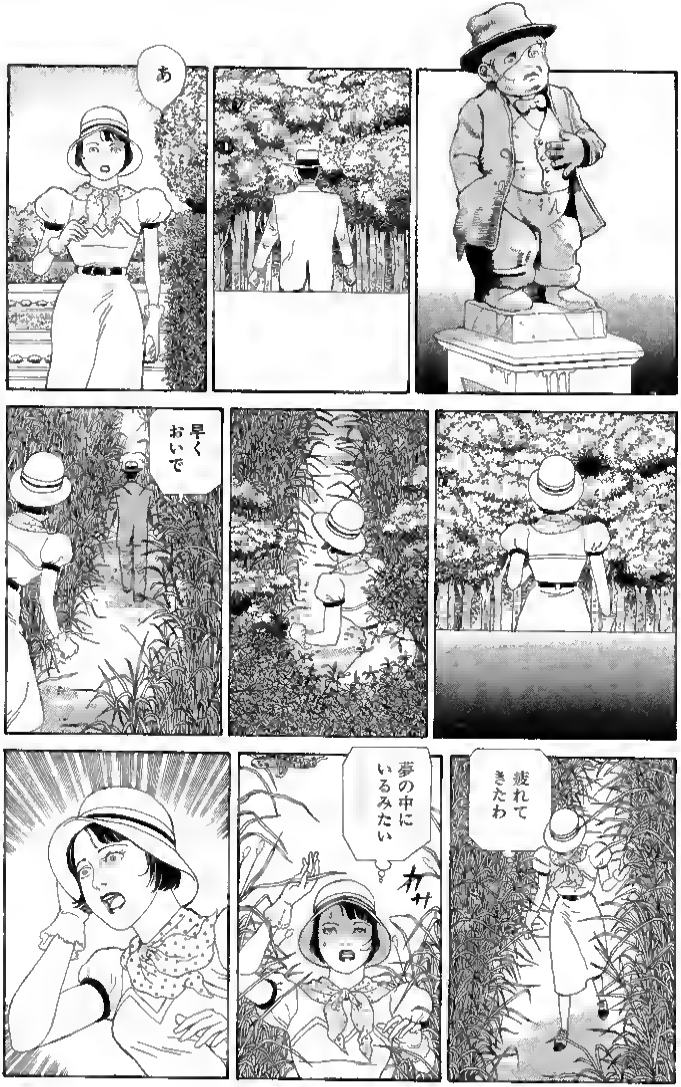
ここは
どこだ

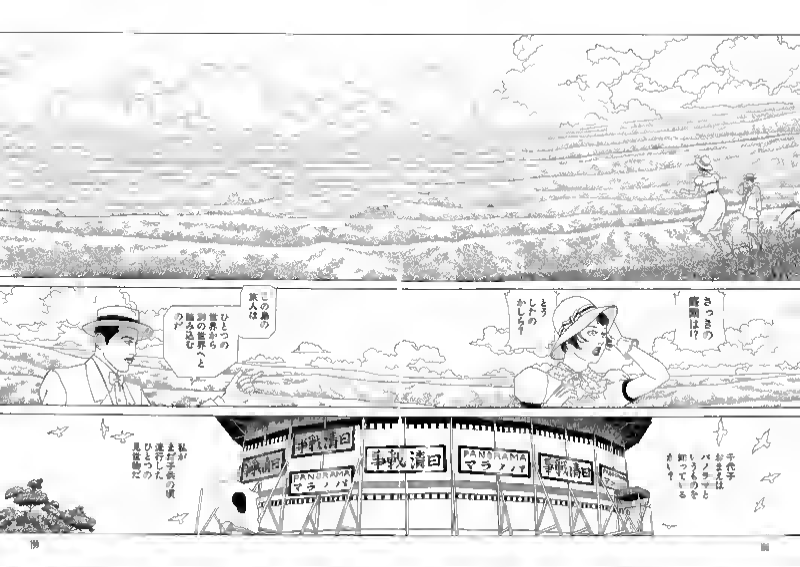



どうだい
この庭

美しいわ……
だけど――

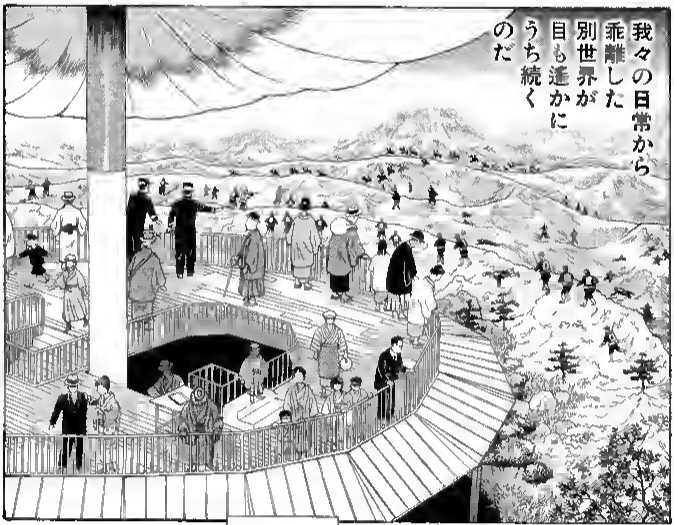

こちらへ


あ
早く
おいで
疲れて
きたわ
夢の中に
いるみたい
カサ

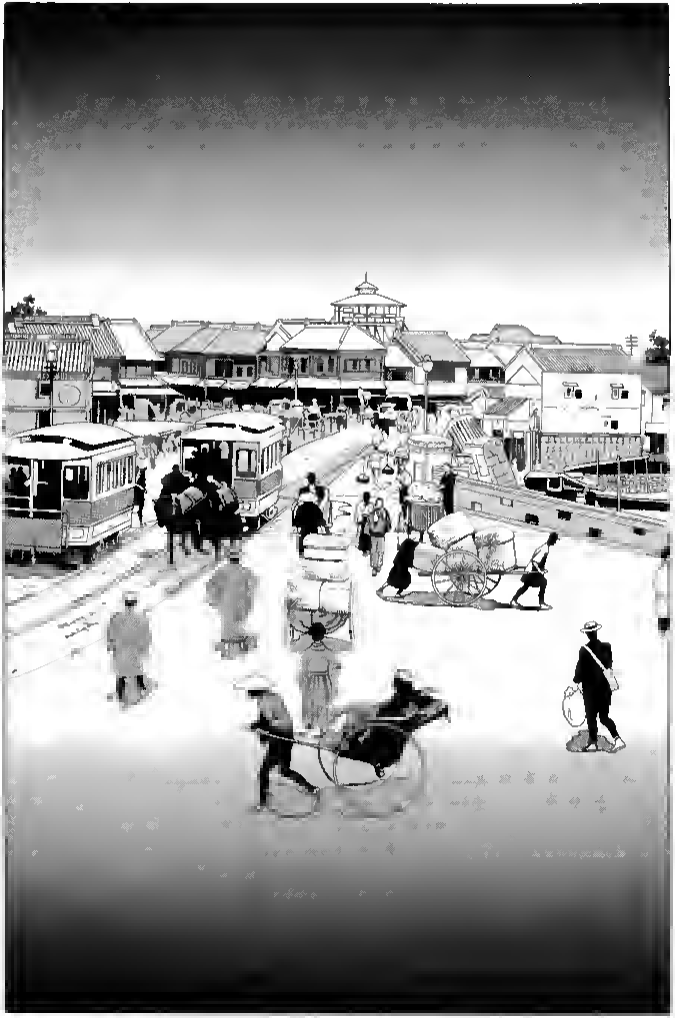

さっきの館開は!?
とうのかしら?
この男の旅人は
ひとつの世界から別の世界へと踏み込むひとだ
千代子おまえはパノラマというものを知っているかい?
PANORAMA
パノラマ
戦争
満田
私がまだ子供の頃遭行したひとつの見世物だ

客は
まず真っ暗な
細い通路を
通らなければ
ならない

そして
そこを出ると
眼界が開け
そこにひとつの
世界がある

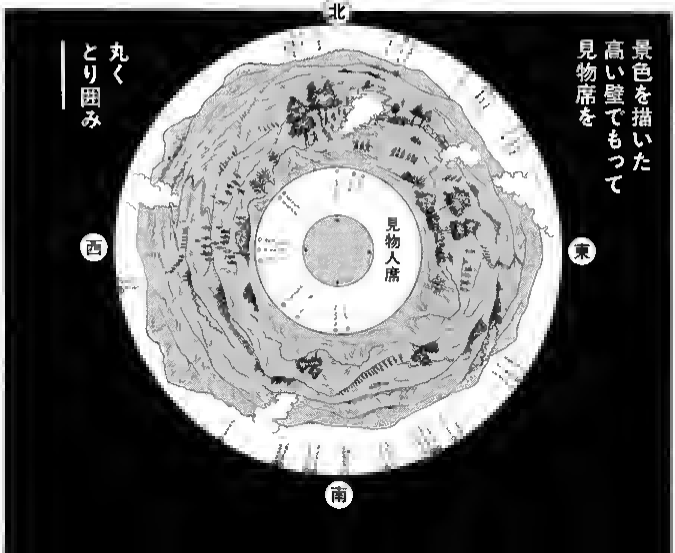


第七章



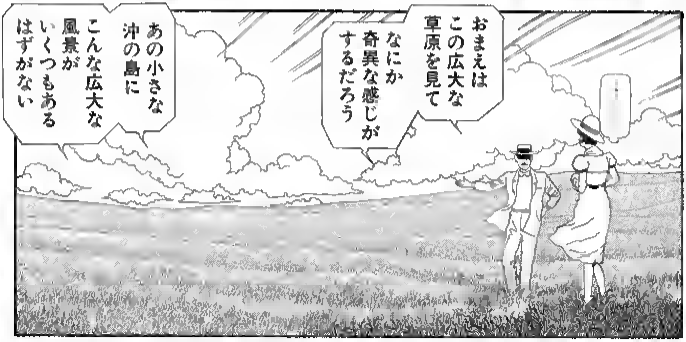
パノラマ館の
外には
たしかに日頃
見慣れた
市街が
あった
それが
パノラマ館の
なかでは
満州の平野が
はるか地平線の
彼方まで
続いている

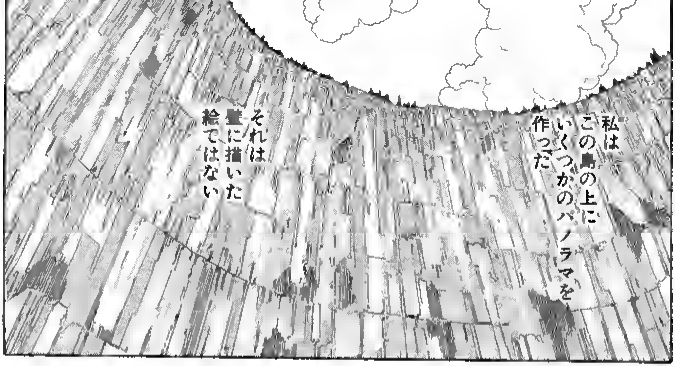
その
方法と
いうのは


北
西
東
南
見物人席
丸く
とり囲み
景色を描いた
高い壁でもって
見物席を

手前に
人形を置き
本物の土や
樹木を飾って
臨場感を高め
天井は
ひさしで
隠して
しまう

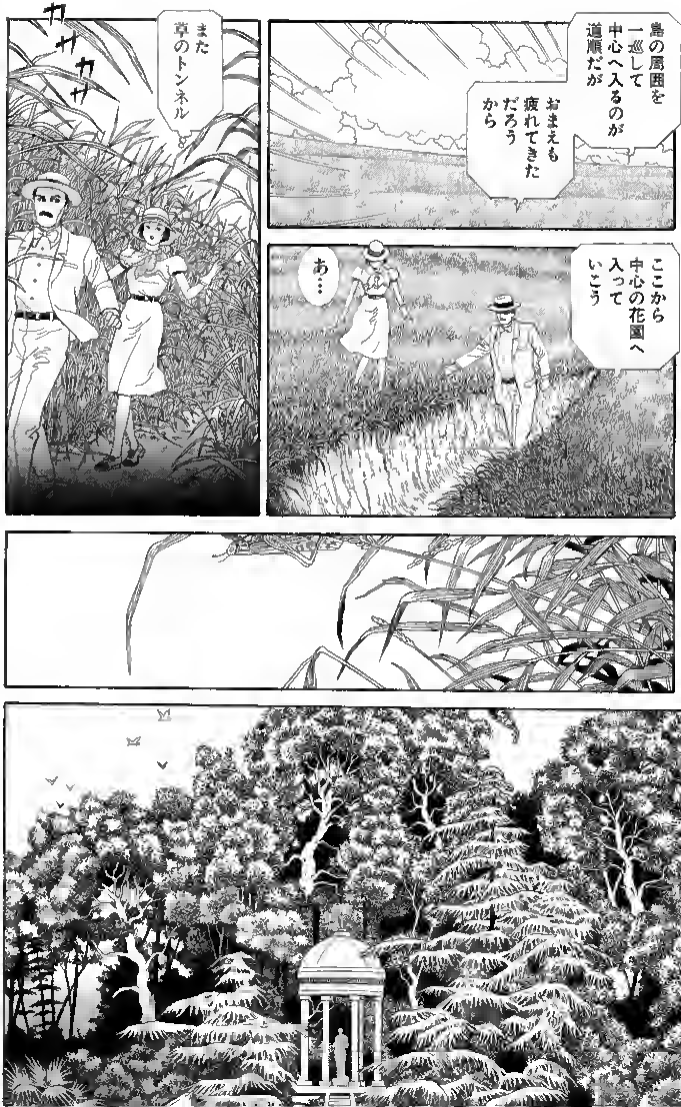
こうして
小さな
建物の
なかに
広漠たる
別世界を
創作
したのだ

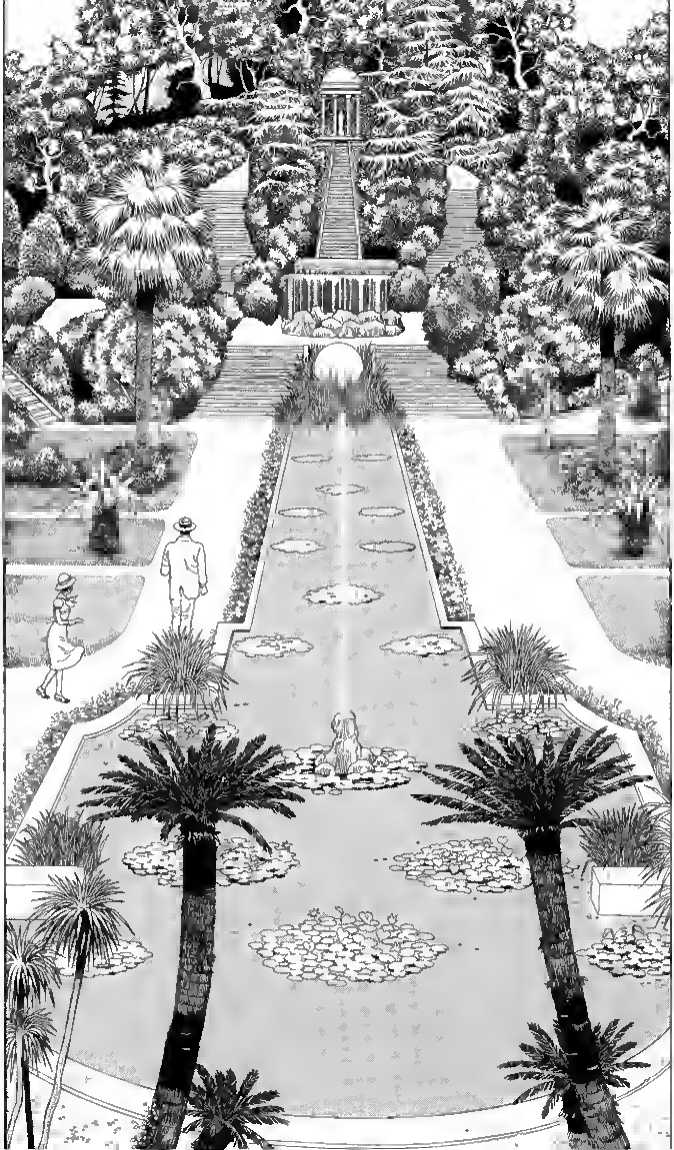

おまえは
この広大な
草原を見て
なにか
奇異な感じが
するだろう
あの小さな
沖の島に
こんな広大な
風景が
いくつもある
はずがない

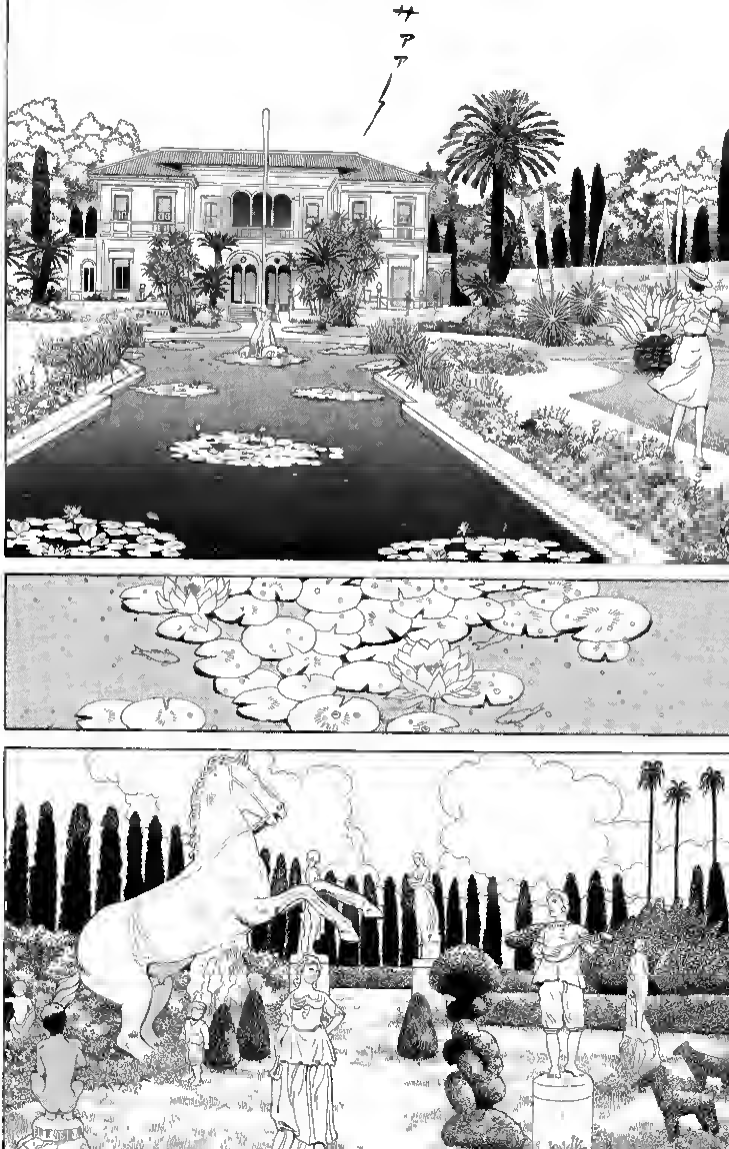

私は
この島の上に
いくつかのパノラマを
作った
それは
量に描いた
絵ではない

自然をゆがめる
丘陵の曲線と
注意深いその曲線の
あんばいと
草木岩石の
配置によって
たくみに
自然の距離を
伸縮したのだ

自然の距離を伸縮!?
さっき登った石段にしても下から見ると空に届きそうに見えて
実際は百段余りしかないのだ
そ それでは
この平原も本当はそれほど広くはないのでしょうか?
そうだよ
気がつかぬほどの傾斜で周囲が高くなっていて
むこうにあるものを隠してあるのだ

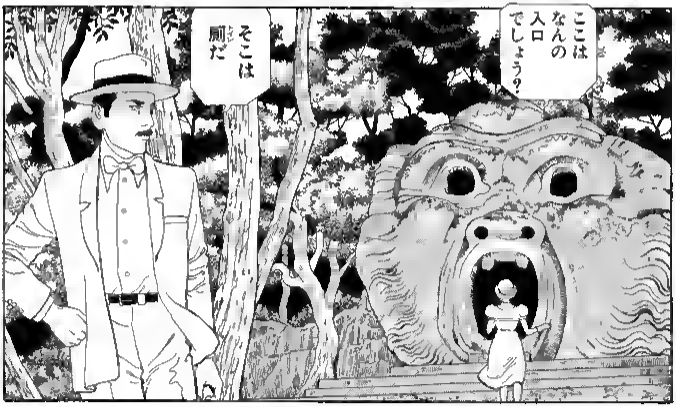

島の周囲を一巡して中心へ入るのが道順だが
おまえも疲れてきただろうから
ここから中心の花園へ入っていこう
あ…
また草のトンネルか
カサカサカサ



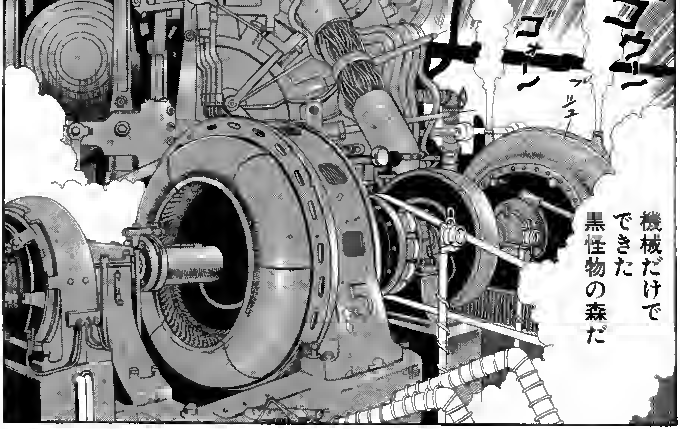


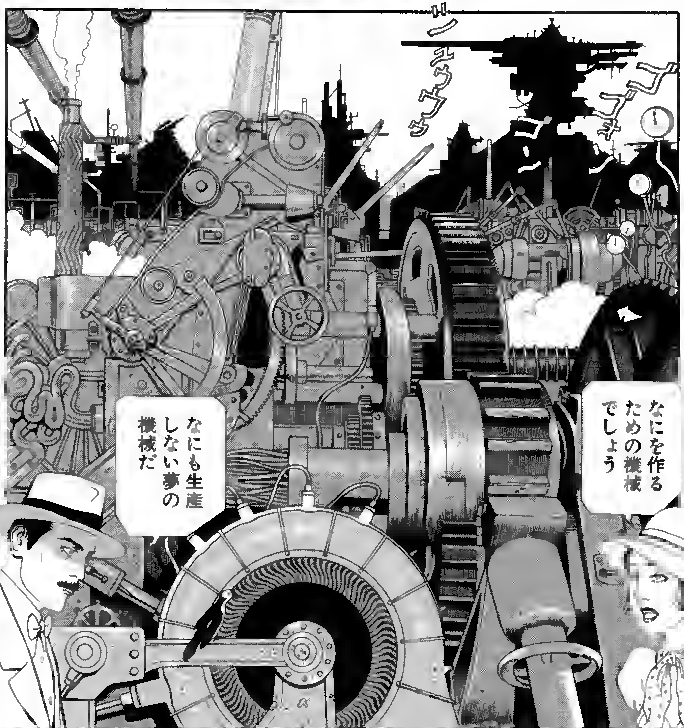
※植物を動物などの形に刈り込む装飾園芸

生きてるみたい……
この彫刻たちはおかしいわ
おかしい？
さはははは

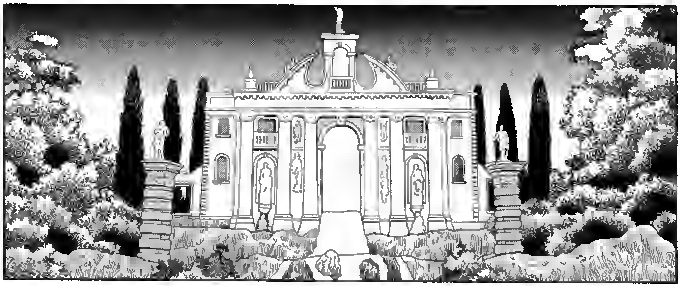

ここは
なんの
入口
でしょう？
そこは
厠だ

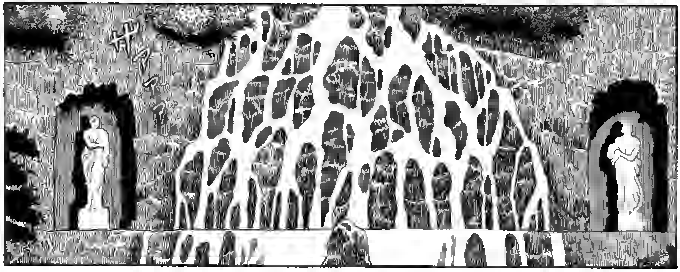
ゴゴゴ
なんの音でしょう？
ゴゴゴ
ゴゴゴ
あれは
優遠国の
音さ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

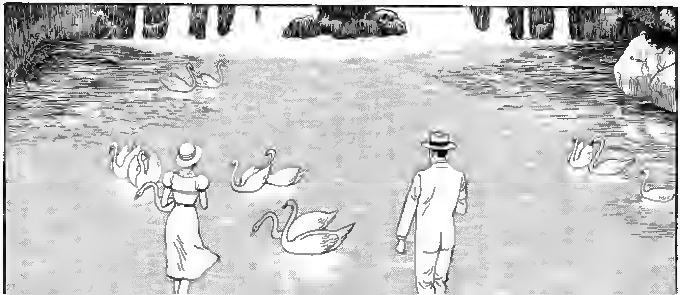

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
機械だけで
できた
黒性物の森だ

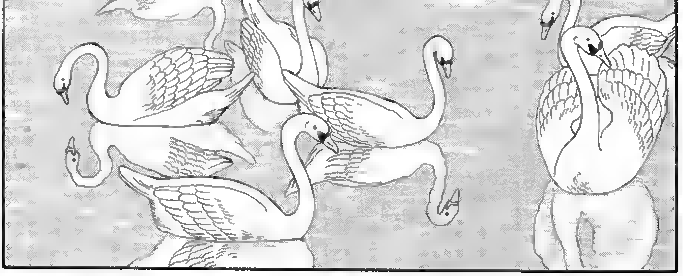

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
なにを作る
ための機械
でしょう
なにも生産
しない夢の
機械だ

異味ないかい？
ゴウン
ゴォン
ゴウ…

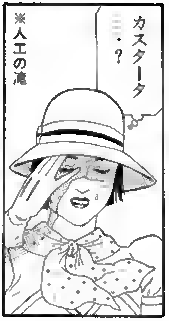



ザワ…

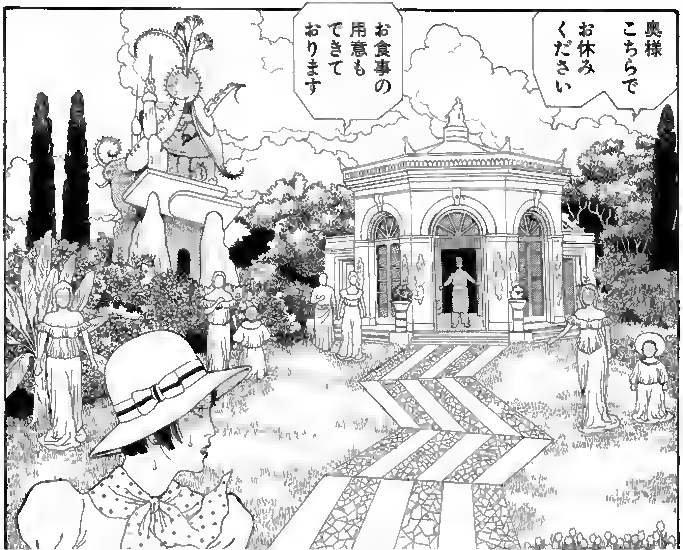




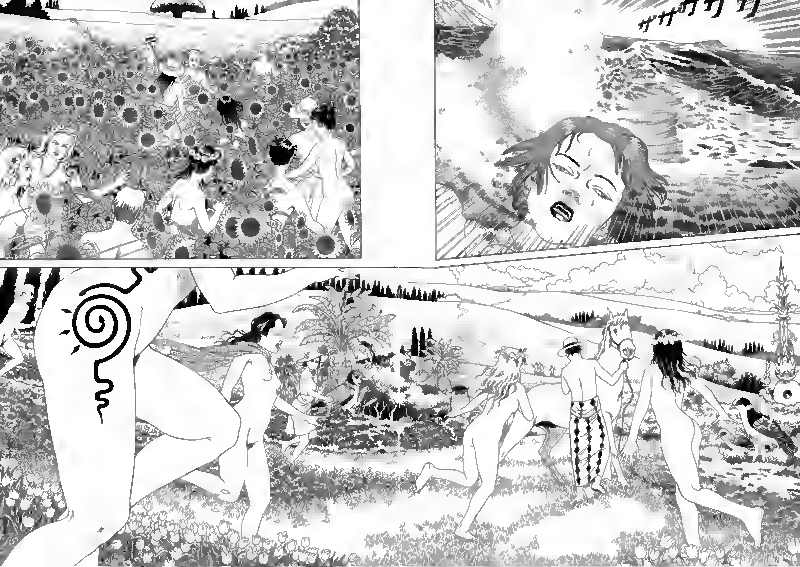
サアアア
どうだい
美しい
カスタータ
だろう


カスタータ
・・？
※人工の滝

疲れた
かい？


奥様
こちらで
お休み
ください
お食事の
用意も
できて
おります

ゴォーン
ゴボゴボ
ゴボ
あなたは……
誰ですか!?
千代子!!



ばばば
ばば
こちらへいらっしゃいな
ばば
ばば
ばば

千代子……
おまえは本当に美しい

怖がっているのはおまえではない
俺のほうなのだ

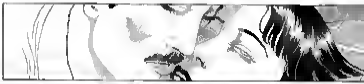
千代子死んでくれ！

死んでくれ！
グッ
うっ……！

ドーン
ドドドド

あっ!?
流星

千代子
彼は今ここで
お前さんを
強く抱ける



いえ
あれは
花火です

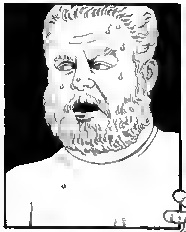
おや？
蛍……
千代子
世界一美しい死体だ

花火を見に行きませんの？
花よりダンゴ！

蛟の姿煮でごんす
げえぷ
水パイプはいかが？
ショウチュウもってこい！

たくさん
食べて
大きく
なるのよ

あら?



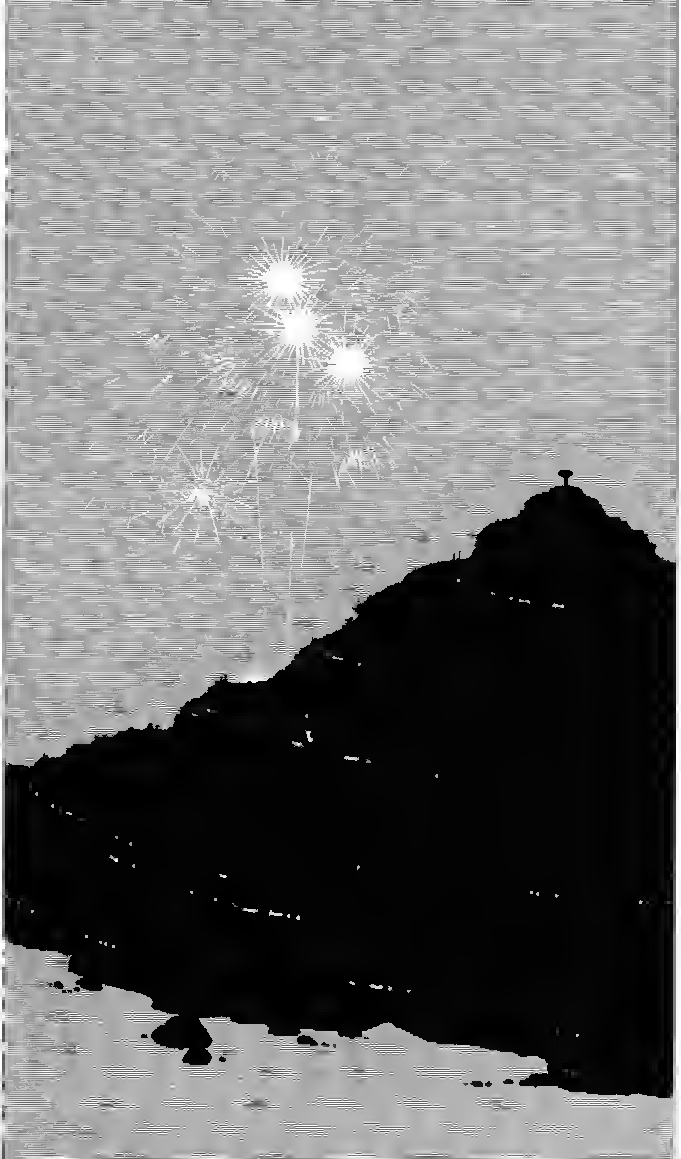
あぁっ
同じ
姿勢を
続けるのは
つらい
まぁ!!

あっ
源三郎
様!!

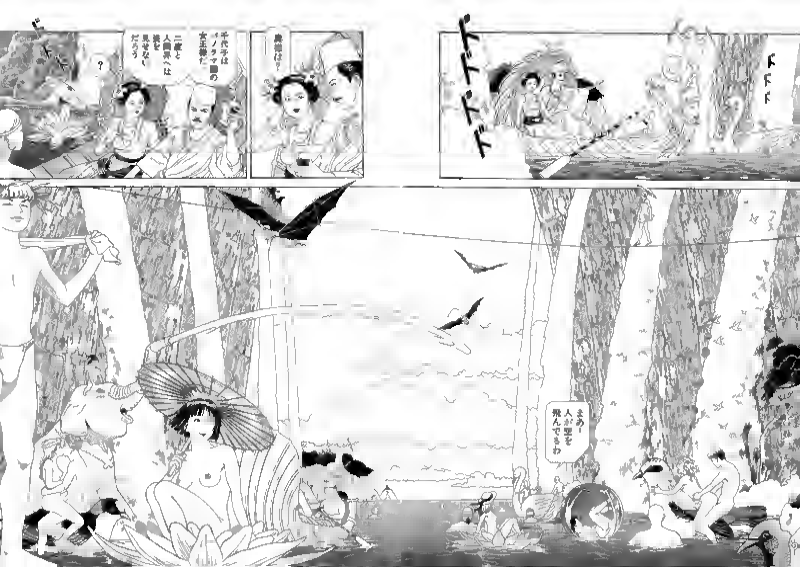
ようこそ
パノラマ島
へ!

ズ
おおっ!!
ズン
はは
はは
はは
はは
ズズ
ドン
あぁぁ
はは
は

ドドド

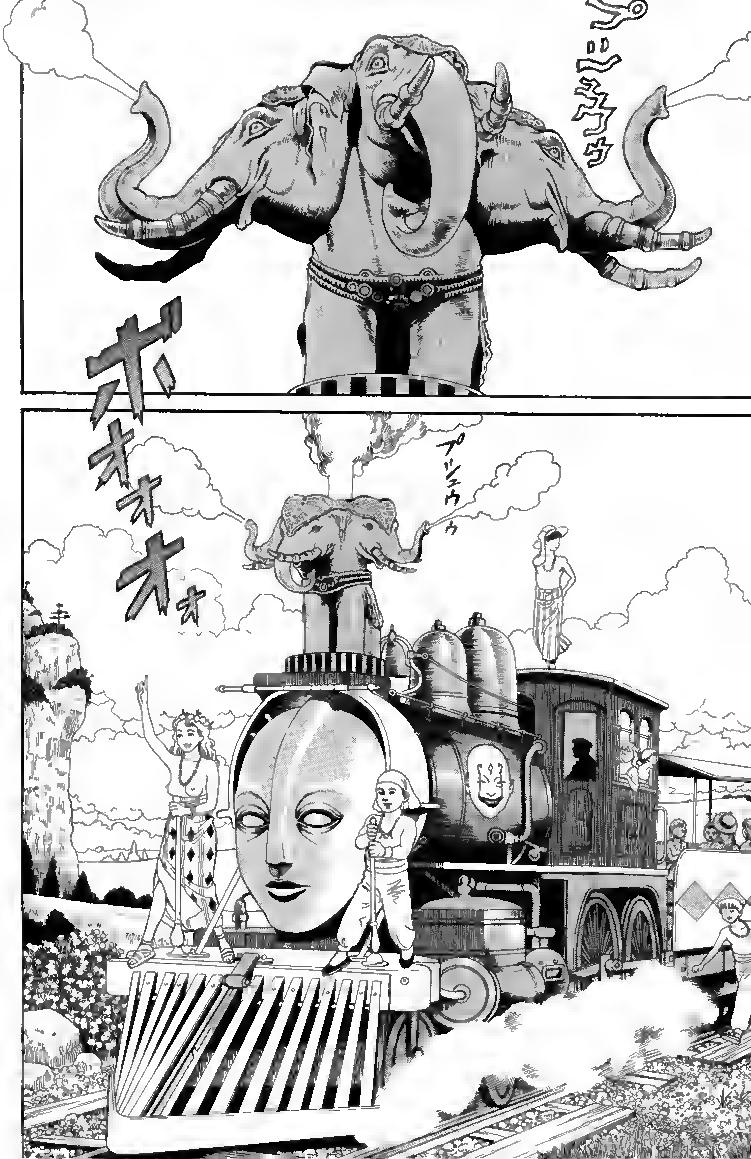


最終章

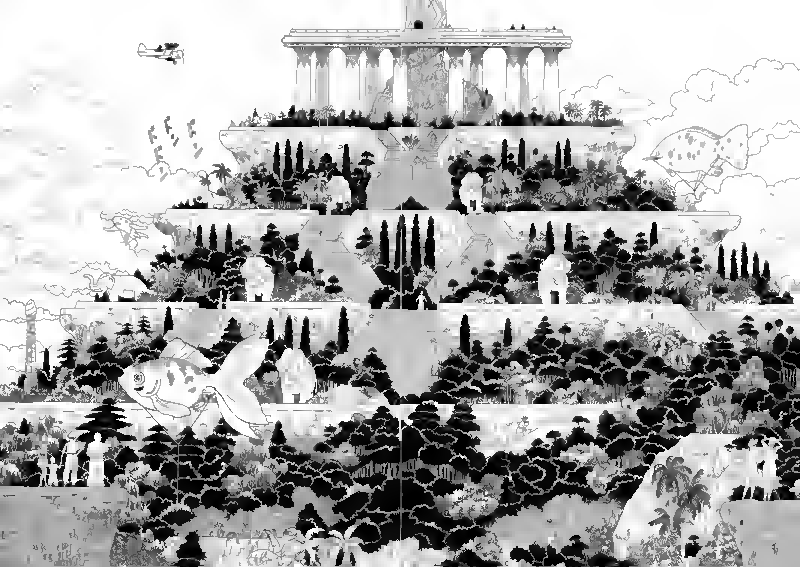

ドドド
ドドドドド
鼻祖は？
平氏方はイノクマ国の宮王朝だ
二家と人間共には見せないだろう
？
まあ！人が空を飛んでるわ

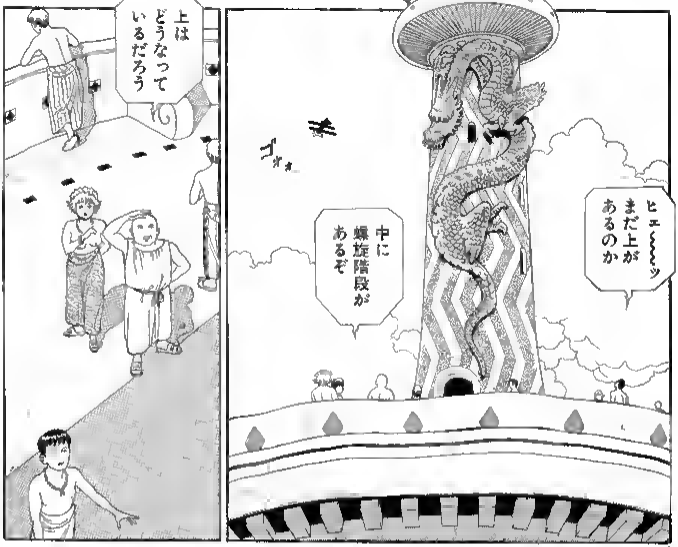
ドボン
あぁ！
あぁぁぁぁ…
バタバタ
あはは
はは!!
ダダダ
はは
はは
はは

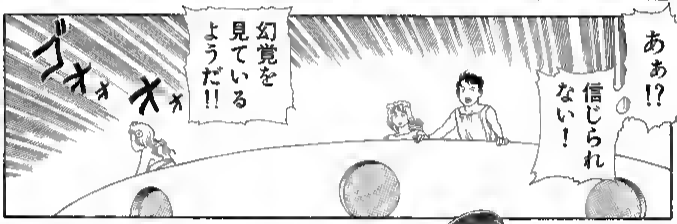
ドドドドド
「ぼんやりした
不安」で自殺した
文士に
この光景を
見せて
やりたかった。

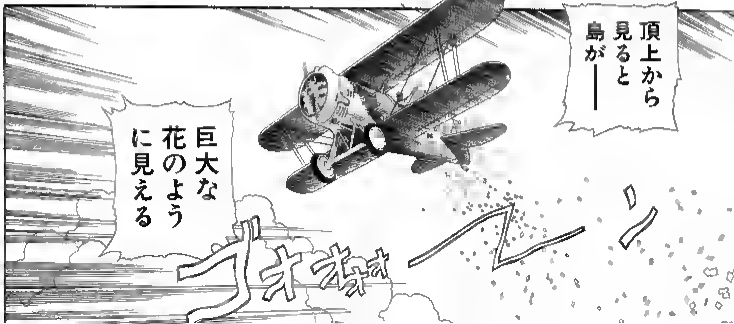

ボオオオオ
プッシュウウ

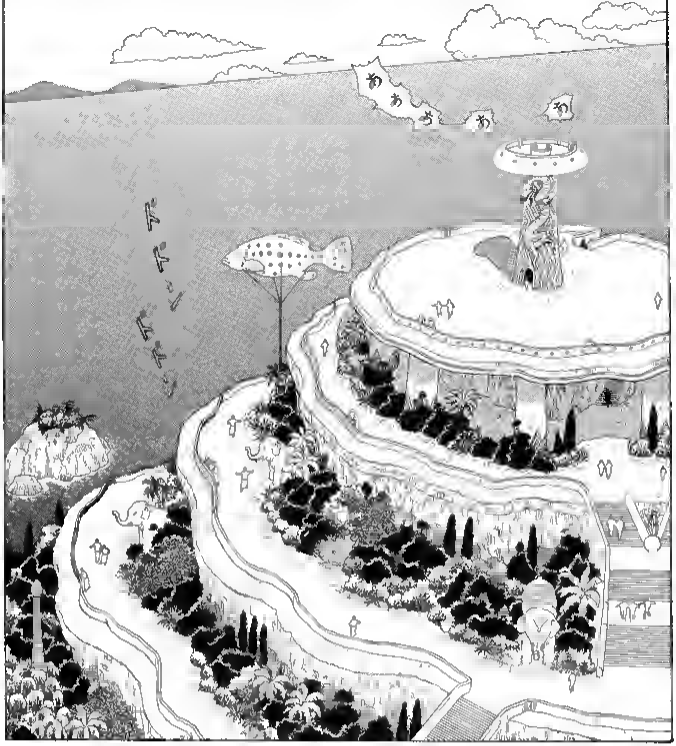
ボッ
ボッ
ボッ
ほ
ほ
ほ
ほ
ほ
ほ
ほ
ほ
ほ
あ
は
は




上はどうなっているだろう
ヒェ〜〜ッまだ上があるのか
中に螺旋階段があるぞ
ゴォォ


あぁ!?信じられない!
幻覚を見ているようだ!!
ゴォォォォ


頂上から見ると島が——
巨大な花のように見える
ゴォォォ


あぁぁぁぁぁ

島が花のように見えるって!?
海に浮かぶ巨大な花!?

黄金株が海上漂う
巨大な花だけ
うそ

ドーン
ドーン
サロメ！
ドーン
ドーン

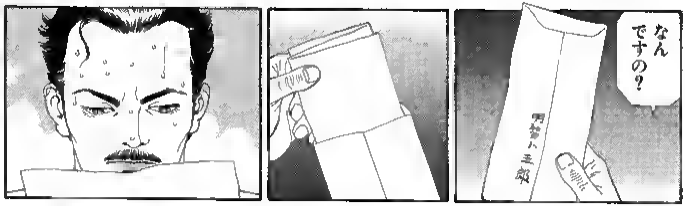
ゴ
ド
ド
ド
ド
ド

はは
はは
はは

※セルゲイ・ディアギレフ(1872–1929)
1902年パリでロシアバレエ団を旗揚げ。ヴァスラフ・ニジンスキー(1890–1950)はその中心的ダンサー。ニジンスキーは1916年頃から精神を病むが、その跳躍はすでに神の領域にあった。

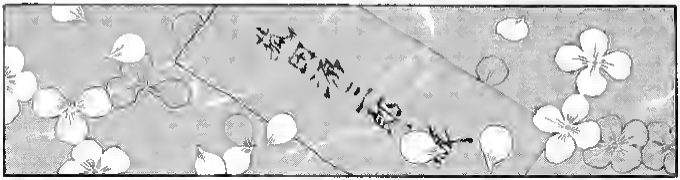
ニジンスキーは発狂してしまった
それじゃ松竹歌劇団を呼びませう
わたしターキーに会いたいわぁ！
わたしはエノケンのほうが好き
旦那様！
東京の――
明智というかたからー
蒜田原三郎様

ゴボゴボ
明智!?


なんですの?

大君は逝く
よき世は逝く
我も逝く
いざ楽園へ

あっ!

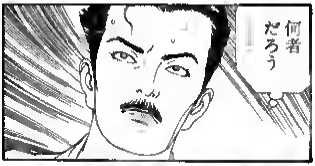


※ルートウィヒ２世(1845-1886)
バイエルン王国の王。自らの道楽の為に莫大な国費を投じて城を造った。

おい君!!
そこに近づくな!!

あれが明智さんですよ
えっ!?

初めまして
私 探偵の明智と申します


何者だろう

あなたの奥様の——
ご親族の依頼で参りました
えっ 千代子の……!!

しばらく
誰も
ここへ
来ぬよう
……
それに
しても
この島は
ある小説に
そっくり
ですね
小説？
人見広介氏の
「RAの話」
という
小説です
人
見
広
介
！
人見広介と
いう名に
ご記憶は
ありませんか
？
あなたと
同じ大学の
学生でした
ええ

人見氏は
まったく
無名の作家
です

彼は
不遇のまま
死にました

自殺です

彼の死後
『RAの話』が
発表されたの
ですが

探偵王

私は
あなたが
『RAの話』を
まねて

この鳥を
造られた
のかと
思いましたよ

私は
神保町の
兎月書房を
訪ねました

編集長に
人見氏に
ついて
聞いたの
ですが

彼は
「よく知らない」
というばかり
でした

編集長は
追悼のつもりで
「RAの幅」を
掲載したのです
ところが――
後になって
遠く離れた
紀州の地で
荻田源三郎氏が
死から蘇生し
奇妙な
事業を
始めたことを
知ったのです
さらに
編集長は
重大な事実を
知って
いました
人見広介氏と
荻田源三郎氏が
瓜二つの
容姿であった
ことを！
人見広介氏は
自殺を装い
自らを消し
荻田源三郎氏に
なろうと
計画したの
です
あなたは
人見広介
です

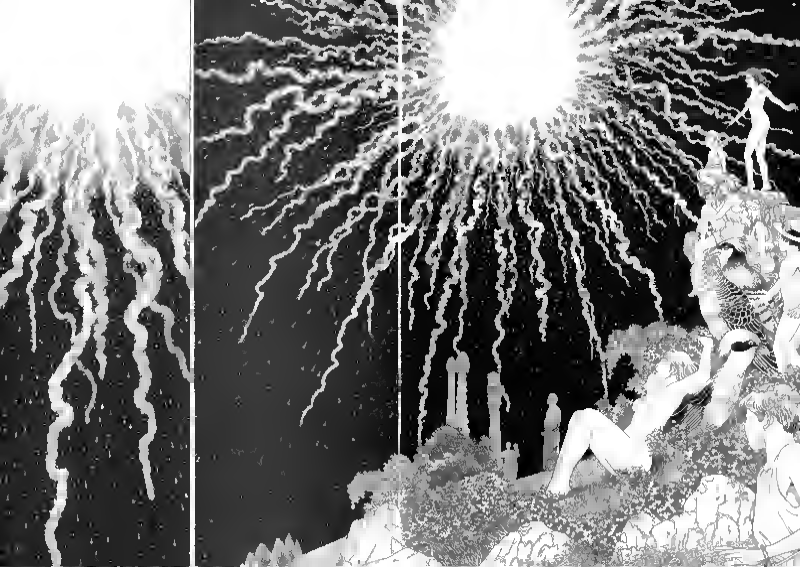
※アーノルド・ベックリン(1827-1901)
十九世紀末の象徴主義の画家

何故
あんな
不吉な
ものを
この楽園に
まったく
ふさわしく
ない
どうやら
君は
すべて
お見通しの
ようだ
ザザザ…
千代子は
あの島で
眠っている
あらかじめ
千代子の
墓として
造らせた
のだ
私は
夢の
実現の為に
紀州の
名家の資産を
喰い潰し
いたいけな
千代子の命まで
奪って
しまった

私は
この莫大な
浪費の
決算を
しなければ
なるまい
決算とは？

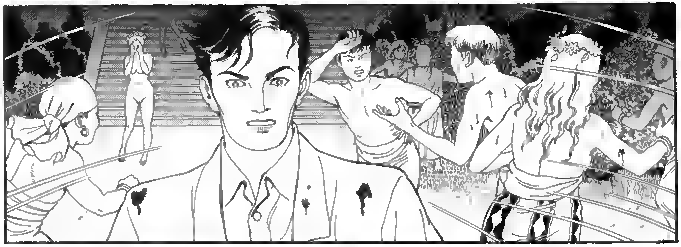
私を
三十分ほど
自由に
させてくれ
逃げは
しない

ドドドド



ハッハッハ
雨…!?

きゃあ
あああ
あう
血の雨!!



ノラマ島綺譚
完

初出　月刊コミックビーム　二〇〇七年七月号～二〇〇八年一月号掲載分に加筆修正

江戸川乱歩

一八九四年（明治二十七年）十月二十一日三重県名張市生まれ。本名・平井太郎。

早稲田大学卒業後、職を転々とし、一九二三年（大正十二年）に雑誌『新青年』に「二銭銅貨」を発表、小説家としてデビュー。

名探偵・明智小五郎の活躍する「心理試験」「D坂の殺人事件」や、「人間椅子」などの短編、「一寸法師」「陰獣」「孤島の鬼」などの長編で、大きな人気を集め、日本探偵小説興隆の祖となる。また少年探偵団シリーズで年少の読者も魅了し、大衆文芸、少年小説の世界にも多大な影響を与えた。戦後も「幻影城」ほかの評論、研究、探偵作家クラブ創設など、精力的に活動。一九六五年（昭和四〇年）七月二十八日、逝去。代表作は、ほかに「屋根裏の散歩者」「パノラマ島綺譚」「怪人二十面相」など多数。

丸尾末広

一九五六年（昭和三十一年）二月二十八日、長崎県生まれ。

少年期に『少年キング』『少年マガジン』等に熱中、漫画家を志す。十五歳で上京し板橋区の凸版製本で働く。十七歳で『少年ジャンプ』に持ち込むが、自分の作風は少年誌に不向きであると知り一時漫画から離れる。

二十四歳、「リボンの騎士」でデビュー。二十六歳、初の単行本『薔薇色ノ怪物』を刊行。以降、漫画・イラストレーションなどを次々発表。その独自の作風により、ワールドワイドに熱狂的な人気を得る。漫画著作は、ほかに『少女椿』『犬神博士』『笑う吸血鬼』など多数。イラストレーションに、小説『帝都物語』（荒俣宏）装画・挿絵、CD『ネイキッド・シティ』（ジョン・ゾーン）ジャケットほか多数。

BEAM COMIX
パノラマ島綺譚
2008年3月7日初版初刷発行

著者　江戸川乱歩
丸尾末広
©HIRAI Ryotaro MARUO Suehiro 2008

発行人　浜村弘一
編集人　青柳昌行
編集　株式会社エンターブレイン　コミック編集部
編集長　奥村勝彦
編集担当　岩井好典
デザイン担当　米本慈己　内田圭祐
営業担当　上野宏樹

装画　丸尾末広

発行所　株式会社エンターブレイン
〒一〇二-八四三二　東京都千代田区三番町六-一
電話／〇五七〇　〇六〇　五五五（代表）

本書の内容に不良交換についてのお問い合わせ先
エンターブレイン　カスタマーサポート
電話／〇五七〇　〇六〇　五五五
（受付時間　土日祝日を除く　正午-午後五時）
メールアドレス／support@mf.enterbrain.co.jp

印刷所　大日本印刷株式会社　Printed in Japan

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社エンターブレインから文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。
定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-7577-3969-7